キングジムCSRレポート・会社案内

2011

ユーザー視点による
情報を発信

ワークライフバランスの
実現

独創的な
商品開発

手軽に楽しめる
商品を

キングジム
CSRレポート・会社案内
2011

常に進化した
商品を開拓

雑貨でお客様に
笑顔を

ニーズに合わせた
商品提案を

チャレンジ意欲を
高める

KING JIM

KING JIM

株式会社キングジム

東京都千代田区東神田二丁目10番18号　〒101-0031

ミックス
責任ある木質資源を使用した紙
FSC® C017928

Vegetable oil INK
for waterless printing
Non VOC INK Version 2

Waterless Printing Naturally

この報告書は、FSC™認証紙、VOC（揮発性有機化合物）成分ゼロの100%植物性インキ、印刷工程で有害廃液を出さない水なし印刷を採用しています。

CUD COLOR UNIVERSAL DESIGN

色覚の個人差を問わず、多くの方に見やすいように配慮して作成し、NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構の認証を取得しています。

発行:2011年10月

経営理念

独創的な商品を開発し、
新たな文化の創造をもって社会に貢献する

行動指針

見つめよう市場 見なおそう慣行 見つけよう新発想

顧客に対して

商品およびサービスは、十分な顧客満足を果たさなければならない。
新商品開発は、市場開拓型の独創的な企画を追求しなければならない。
その品質は顧客の求める水準に維持され、かつ適正な価格でなければならない。

社員に対して

社員の個性を尊重した能力開発とともに、自由闊達な提案や意見具申ができるなど、能力を生かせる職場環境を保たなければならない。
待遇は能力と実績に応じ、公正かつ適正なものでなければならない。

株主に対して

常に株主の信頼と理解を得られるよう、情報を積極的に開示しなければならない。
企業価値の増大と株主への利益還元に努めなければならない。
コーポレートガバナンスを強化し、公正かつ透明性の高い経営を行わなければならない。

社会に対して

商品は、文化の向上に貢献できるものでなければならない。
社内のコンプライアンス体制を整備し、
社会の一員としての意識とモラルを持たなければならない。
商品と企業活動を通して、常に環境と資源の保護に努めなければならない。

KING JIM

「キングジム」の社名は、
「事務の王様」の意味が込められています。
四角い「スクエア・パターン」は、「キングファイル」の
背表紙デザインを表しています。

編集方針 お読みいただくにあたって

キングジムグループは、2006年度から「CSR報告書」の発行を開始し、キングジムグループが行っているCSR(Corporate Social Responsibility=企業の社会的責任)にかかわる活動を、ご報告してまいりました。

2008年度からは、主要財務データ・国内外ネットワークなどを掲載した「会社案内」と統合し、名称を「CSRレポート・会社案内」として発行しています。また、読者の皆様がより読みやすいよう、カラーユニバーサルデザインに配慮し、制作しています。

「CSRレポート」部分の編纂に関しては、以下のガイドラインの項目を参考に、網羅的に配慮しつつ厳正に選定し、当社グループの状況を記載しております。

- 「サステナビリティ・リポーティング・ガイドライン第3版」(GRI)
- 「社会的責任(CSR)経営自己評価シート」(経済同友会 2009年)
- 「環境報告ガイドライン 2007年版」環境省
- 「環境会計ガイドライン 2005年版」環境省

対象期間

記述の対象期間は、2011年度(2010年6月21日～2011年6月20日)の内容を中心としております。ただし、ご理解を深めていただく必要に応じて、この期間の前後の内容についても記述しております。

対象範囲

キングジムグループ全体に関する内容を主としておりますが、株式会社キングジムに限定した記述に関しては、「キングジム」と明示し、「キングジムグループ」と区別しております。

当レポートの内容は、キングジムのホームページでも公開しております。

http://www.kingjim.co.jp/

本書の内容についてのお問合せ先

株式会社キングジム 広報室
mail webmaster@kingjim.co.jp
TEL 03-3864-7073
FAX 03-3864-9258

CONTENTS

02 TOP MESSAGE
04 キングジムのブランド
06 事業概要

ハイライト
10 ❶震災復興に向けて
12 ❷点字体験授業

14 イノベーション&デザイン
15 顧客と社会への貢献となるような新商品の開発
19 パートナー企業との連携

20 顧客とともに
21 ユーザー視点に立ったサービスの提供
22 顧客とのコミュニケーション
23 情報活用の啓発

24 従業員とともに
25 人材育成のための研修
26 いきいきと働ける職場づくり

28 社会とともに
29 社会貢献活動の推進

30 環境への取り組み
31 環境マネジメント
32 温暖化防止
33 環境意識の啓発
34 廃棄物対策
35 海外工場における取り組み
36 環境配慮設計
38 マテリアルフロー・環境会計
39 環境を意識した商品の取り組み

マネジメント
40 コンプライアンス
41 コーポレート・ガバナンス
アカウンタビリティ

独創的な商品を開発し、新たな文化の創造をもって社会に貢献する

キングジムは、事務用の「ファイル」と「電子文具」を核とした、情報整理用品のメーカーです。オフィスの書類整理のための「キングファイル」、ラベルライター「テプラ」、デジタルメモ「ポメラ」などでご存知の方もおられると思います。

創業者は自身がファイルの発明家でした。「人と同じことをしては面白くない」というポリシーの持ち主で、独創性、オリジナリティを大切にする社風は、今も脈々と受け継がれています。

主力商品の「キングファイル」「テプラ」などは、そのような社風から生まれた、典型的な市場開拓型商品です。

当社の経営理念は「独創的な商品を開発し、新たな文化の創造をもって社会に貢献する」となっていますが、今までになかった、世の中の役に立つ商品をご提供することが、私たちの使命だと考えています。

株式会社キングジム
代表取締役社長
宮本 彰

震災復興に向けて

2011年3月11日に東日本を襲った大震災と、その後の福島第一原子力発電所の大事故については、日本中、いや世界中の人々が強い衝撃を受けました。日本全体の危機だといえるでしょう。

キングジムグループでは、微力ながら支援活動に参加いたしました。被災地への支援のみならず、経済活動を旧来以上に活発にすることが、日本経済と被災地の復興活動を支えることにつながると考えています。

今後も、日本全体の復興に向け貢献するという思いを胸に、全従業員が一丸となって企業運営に取り組んでまいります。

CSRと経営

株式会社キングジムは「ファイル」を中心とする情報整理用品のメーカーとして成長を続け、2001年に株式を上場し、2005年には東京証券取引所の市場第一部に指定していただきました。

この過程で、お客様と従業員はもちろん、株主様や社会全体への責任を強く意識し、経営の透明性を確保し、コーポレート・ガバナンス体制を強化してまいりました。

グループ会社も、海外に4社、国内に4社を持ち、グループ全体としてCSR活動に取り組んでいます。特に海外グループ会社におきましては、現地の法令を十分に研究遵守し、現地の文化を尊重した上で、雇用の確保を基礎とした社会貢献を推進してまいります。

環境問題に関しましては、商品が購入され、使用され、廃棄されるまでの製品ライフサイクル全体での環境負荷を低減すべく、設計や素材の選択に工夫を凝らしています。また、生産活動や輸送も含めた企業活動全体での環境負荷低減のため、マテリアルフローや環境会計を取り入れ、現状を把握して対策を図っています。

ステークホルダーとのコミュニケーション

コミュニケーションは双方向であることが重要です。商品を開発し、販売することで、メーカーはお客様や市場に語りかけています。一方で、お客様からの声に真摯に耳を傾けることで、クレームも次のより良い商品づくりへのきっかけとなります。また、株主様や投資家様へのIR活動・企業情報の開示も、一部上場企業としての重要な活動です。

キングジムは、ホームページの頻繁な更新や、ツイッター、フェイスブックの積極活用などを通じて、コミュニケーションの強化に努めています。

今回お届けします「CSRレポート・会社案内」は、顧客・社員・株主・社会全体に対するCSRのご報告であると同時に、CSR活動を通じてキングジムグループをご紹介してまいります。ぜひご一読いただき、忌憚のないご意見を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

キングファイル

キングジムのブランド

ブランドはユーザーとメーカーを結ぶ
信頼の架け橋です。

TEPRA

recolo
interval recorder

インターバルレコーダー「レコロ」は、植物の成長や風景などのインターバル撮影を手軽に楽しむための専用カメラです。

SHOT NOTE®

「ショットノート」は、手書きノートとアプリが連携する新しいノートです。手書きメモをスマートフォンで撮影するだけで、保存や整理が簡単なデジタルメモとしてご活用いただけます。

Toffy

Lezaface

デジタル名刺ホルダー「ピットレック」
PITREC

coharu
masking tape printer

スキットマン®

デジタルメモ「ポメラ」
pomera

mamemo

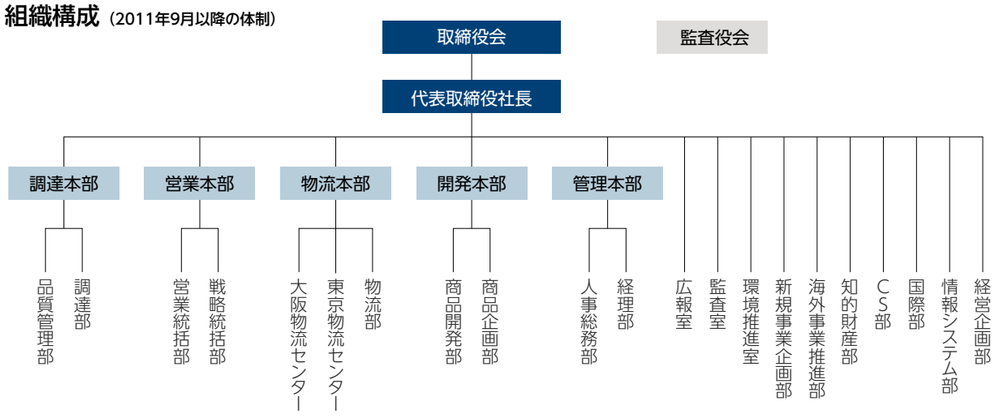
事業概要

会社概要（2011年6月20日現在）

商号	株式会社キングジム　KING JIM CO.,LTD.
代表取締役社長	宮本 彰
創業	1927年4月
設立	1948年8月
資本金	19億7,869万円
株式	東京証券取引所 市場第一部　証券コード7962
従業員数	連結:1,791人　個別:436人
所在地	東京都千代田区東神田二丁目10番18号
事業所数	支店・営業所・駐在員事務所…10　物流拠点…3　ショップ・サービス拠点…5

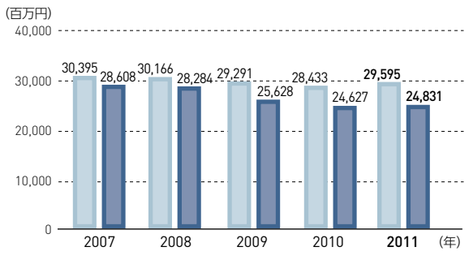
＊事業所数は2011年9月以降の体制です。

組織構成（2011年9月以降の体制）

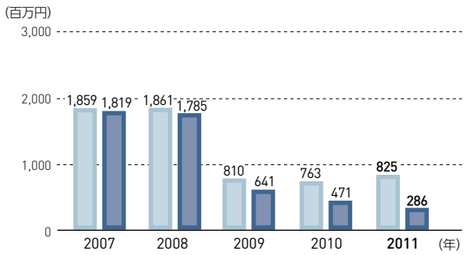


財務データ

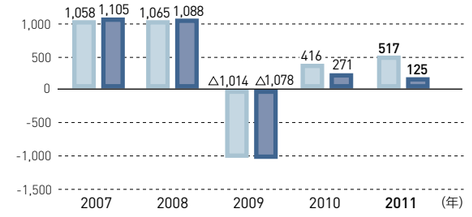
売上高（各年6月期）　連結 個別



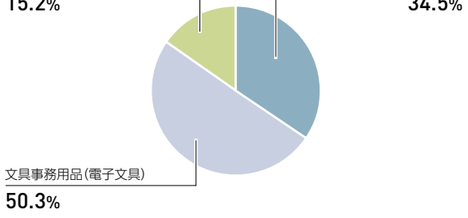
経常利益（各年6月期）　連結 個別



当期純利益（各年6月期）　連結 個別

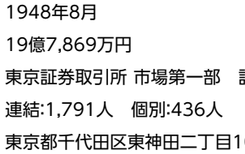


売上構成比



沿革

1927-



1927 創業者・宮本英太郎が「特許人名簿」、「印鑑簿」を発売。

1947 ルーズリーフ、バインダー、各種ファイル類を生産発売。

1948 「株式会社名鑑堂」を設立。

1953 大阪支店を開設。

1961 社名を「株式会社キングジム」に改称。名古屋支店を開設。

1964 「キングファイルG」を発売。

1967 宮本健三が社長に就任。

1980-

1981 福岡支店を開設。

1982 宮本浩三が社長に就任。

1984 東京物流センターを開設。

1987 東京店頭市場に株式を登録。

1988 ラベルライター「テプラ」を発売。

1990-

1992 宮本彰が社長に就任。

1993 「キングファイルG」累計販売冊数1億冊、「テプラ」累計販売台数100万台を突破。

1996 P.T. KING JIM INDONESIAを設立。

1998 KING JIM(MALAYSIA) SDN.BHD.を設立。

2000-

2001 東京証券取引所市場第二部に上場。長島商事株式会社（現:ラドンナ）をグループ会社化。

2002 中国に上海錦宮牧野国際貿易有限公司（現:錦宮（上海）貿易有限公司）を設立。株式会社合同（現:Gクラッセ）をグループ会社化。

2005 点字もできる「テプラ」を発売。東京証券取引所市場第一部に指定。

2006 CSR報告書を発行。

2007 KING JIM（VIETNAM）Co.,Ltd.を設立。

2008 デジタルメモ「ポメラ」を発売。株式会社アスカ商会をグループ会社化。

2010 「Toffy SHIODOME」、「アカデミーラウンジ・池袋」をオープン。

2011 「ショットノート」を発売。「Toffy LANDMARK PLAZA」、「Toffy Esola IKEBUKURO」、「アカデミーラウンジ・水道橋」をオープン。

事業拠点

支店・営業所・駐在員事務所

札幌営業所
〒062-0933 札幌市豊平区平岸三条三丁目1番27号
TEL.011-811-0593　FAX.011-822-7695

仙台営業所
〒984-0002 仙台市若林区卸町東二丁目1番23号
TEL.022-236-4110　FAX.022-236-2020

さいたま営業所
〒331-0812 さいたま市北区宮原町一丁目490番地
TEL.048-651-0198　FAX.048-651-8599

東京支店
〒101-0031 東京都千代田区東神田二丁目6番9号
アルテビル東神田II
TEL.03-3864-0505　FAX.03-3864-0949

名古屋支店
〒461-0004 名古屋市東区葵一丁目7番3号
TEL.052-935-6861　FAX.052-937-9214

大阪支店
〒542-0081 大阪市中央区南船場一丁目12番29号
TEL.06-6268-0401　FAX.06-6268-0410

広島営業所
〒730-0847 広島市中区舟入南三丁目13番6号
TEL.082-291-8458　FAX.082-294-9272

福岡支店
〒812-0016 福岡市博多区博多駅南三丁目2番20号
博多ハッコウビル1F
TEL.092-471-6251　FAX.092-473-0430

香港駐在員事務所
Room1703,Beverly House,93-107Lockhart Road,Wanchai,Hong Kong
(香港Wanchai)

深圳(シンセン)駐在員事務所
Room No.703,Coastal City West tower,
Hai De San Dao,Nanshan District,Shenzhen,P.R.China
ZIP CODE:518054

国内グループ会社

株式会社ラドンナ
〒135-0031 東京都江東区佐賀一丁目5番9号
永代MKビル2～3F
TEL.03-5620-2780　FAX.03-5620-2781
[大阪営業所]
〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場一丁目12番29号　キングジム大阪支店ビル3F
TEL.06-6268-3580　FAX.06-6268-3581

株式会社Gクラッセ
〒135-0031 東京都江東区佐賀一丁目5番9号
永代MKビル5F
TEL.03-5646-5027　FAX.03-5646-5028

株式会社アスカ商会
〒464-0003 愛知県名古屋市千種区新西一丁目2番10号
TEL.052-772-5216　FAX.052-772-7707
[東京ショールーム]
〒151-0053 東京都渋谷区代々木一丁目22番1号
代々木1丁目ビル1F
TEL.03-6276-8780　FAX.03-6276-8680

株式会社キングビジネスサポート
〒101-0031 東京都千代田区東神田二丁目6番7号
クラウン高橋ビル2F
TEL.03-3864-5646　FAX.03-3864-5647

物流拠点

葛西ロジスティクスセンター
〒134-0086 東京都江戸川区臨海町四丁目2番1号
TEL.03-3878-5632　FAX.03-3878-5572

東京物流センター
〒271-0064 千葉県松戸市上本郷228番地
TEL.047-361-1220　FAX.047-361-6994

大阪物流センター
〒553-0007 大阪市福島区大開四丁目1番18号
TEL.06-6466-6030　FAX.06-6466-6031

ショップ・サービス拠点

[雑貨アンテナショップ]
Toffy THE SHOP

「Toffy」(トフィー)は、「Toffyで彩る私の毎日」をコンセプトとして展開するキングジムグループの雑貨ブランドです。アロマ・ディフューザーやデジタルフォトフレームなど、家電的な機能を持つ商品から個人向け文具まで、幅広くラインアップしています。現在、「Toffy」のアンテナショップは、汐留、横浜、池袋の3店舗です。

1 Toffy SHIODOME
〒105-8310 東京都港区東新橋1-6-2 汐留タワーB2F
TEL.03-6218-4180　FAX.03-6218-4185
営業時間：平日 11:00-20:00
　　土曜日 11:00-19:00
休 業 日：年末年始、臨時休業日

2 Toffy LANDMARK PLAZA
〒220-8101 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-2-1
横浜ランドマークプラザ1F
TEL.045-670-7680　FAX.045-670-7685
営業時間：11:00-20:00
※休業日は不定

3 Toffy Esola IKEBUKURO
〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-12-1
Esola池袋B1F
TEL. 03-5928-5280　FAX.03-5928-5285
営業時間：10:30-21:30
※休業日は不定

[有料自習室]
タイムシェア自習室 アカデミーラウンジ

資格試験など専門的な勉強をするビジネスマンや、定期試験や受験勉強をする学生など、お客様のライフスタイルに合わせてお選びいただける完全会員制の自習室です。タイムシェア・システムを導入することにより、クオリティの高い自習空間をリーズナブルな価格でご提供しています。

アカデミーラウンジ・池袋
〒171-0022 東京都豊島区南池袋2-12-9 KKビル4F
TEL.03-3864-7082
営業時間：平日 7:30-23:00
　　土・日・祝祭日 9:00-22:00

アカデミーラウンジ・水道橋
〒101-0061 東京都千代田区三崎町3-6-12
KDX神田三崎町ビル3F
TEL.03-6272-5430
営業時間：平日 9:00-23:00
　　土・日・祝祭日 9:00-22:00

国内グループ会社

株式会社ラドンナ　LADONNA

結婚や赤ちゃんの成長記録など思い出の写真を大切に残すフォトフレームや香りのある暮らしを素敵に演出するアロマシリーズ、デジカメや携帯電話で撮影した写真を美しく再生できるデジタルフォトフレームなど生活に彩りをプラスする室内装飾小物の企画・販売を行い、ギフト需要を中心にインテリア雑貨店の店頭を鮮やかに彩っています。

株式会社アスカ商会　asca

アーティフィシャル・フラワーやクリスマス・デコレーション、インテリア雑貨などの企画・販売を行っています。

「asca」ブランドは、高品質とファッショナブルな商品展開で、インテリアおよびディスプレイ業界で高い支持を得ています。自然をモチーフに素材や色にこだわった個性あふれるデザインラインを取り揃え、あらゆる空間を彩っています。

株式会社Gクラッセ　Gclasser

ギフト向けの時計や、雑貨の企画・開発・販売を行っています。時計は、シンプルなデザインからファッショナブルで個性豊かなものまで、オリジナルブランドの腕時計を多数展開し、充実したラインアップを揃えています。

また、雑貨ではToffyブランドを中心に、マジックボックスやコンパクト音波振動歯ブラシ、バイブレートクッションなど、インテリアからヘルス&ビューティーまで幅広く展開し、好評を博しています。

株式会社キングビジネスサポート

キングジムグループ各社が本来の業務に専念し、企業価値を高めるためのビジネスサポート全般を行っています。総務・庶務・購買など周辺業務の見直しや従業員への福利厚生サービスの提供などを通して、効率的に業務を進められるようサポートしています。

海外グループ会社

錦宮(上海)貿易有限公司　販売会社

中国
上海市

経済発展の著しい中国市場に、ファイルを中心とした文具、事務用品を販売する目的で、2002年に中国・上海に設立しました。

P.T.KING JIM INDONESIA　生産会社

インドネシア
東ジャワ州パスルアン県

クリアーファイルを中心とした、化成品ファイルを生産する工場です。1996年に設立しました。

KING JIM (VIETNAM) Co.,Ltd.　生産会社

ベトナム
ビンズン省

キングファイルを中心とした、事務用ファイルを生産する工場です。2007年に設立しました。

KING JIM (MALAYSIA) SDN.BHD.　生産会社

マレーシア
ケダ州スンガイペタニ市

キングファイルの心臓部ともいえる金属とじ具の生産工場です。1998年に設立しました。

震災復興に向けて

2011年3月11日に発生した東日本大震災により、被災された皆様には謹んでお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。
キングジムグループにおける影響およびその後の対応について、ご報告いたします。

当社グループへの影響

従業員の安否確認

地震発生後、直ちに役員・従業員の安否・被害状況の確認を行い、グループ会社を含む全員の無事を確認しました。

事業所の被害状況

仙台市若林区卸町にある当社営業所では、地震発生後、事務所設備の損傷およびライフラインの遮断等により営業活動を停止していましたが、4月5日より営業を再開しました。

当社グループの災害対策

地震、火災などの災害が発生した場合の行動基準、連絡・安否確認方法等を取りまとめた「緊急災害時行動マニュアル」を改定しました。また、「地区防災組織図（火災・地震対応等共通）」および「全社緊急連絡網」を見直し・改定しました。

＊リスクマネジメントについては、P41を参照

被災地域への支援

キングジムグループでは、被災地の一刻も早い復興を願い、日本赤十字社への寄付をはじめとして、さまざまな形で被災地への支援活動を行っています。

主な支援活動

- キングジムおよび全役員・従業員一同
  日本赤十字社への寄付（1,000万円）
- キングジムグループ
  当社の文房具製品1,000万円相当を寄贈

仙台営業所の対応

仙台営業所 所長
藤本 聡

地元と協力し、継続的な復興支援に取り組みます。

震災後の事務所の様子

震災時、仙台営業所では倉庫に保管していた商品が棚から落下したり、建物の壁に亀裂が入るなどの被害を受けました。営業活動で外出していた従業員もいましたが、震災当日に全員の無事が確認できています。

取引先の代理店・販売店に対してまず行ったことは、営業再開に向けた商品の片付けや仕分けの手伝いと、津波の浸水被害で海水に浸かった商品の引き取り作業です。また、仙台へ向かう交通機関が復旧するまでの間、商品配送がスムーズに行えなかったので、本社の物流本部と協力し、11t車のチャーター便を緊急で手配しました。チャーター便には、地元の代理店を経由して、自衛隊へ提供するための厚型ファイルなどの商品を積み込みました。

今後は地元の流通の活性化に向けて積極的に協力し、販促活動はもちろん、要請があれば物的支援なども継続して行いたいと考えています。

代理店・小売店の被害状況と今後

株式会社 仙台山三
宮城県 仙台市
代表取締役社長 **円谷 正蔵** 様

社員全員が団結し、お客様である販売店の営業再開支援に取り組んでいます。

当社は、社員の人的被害はなく、幸い全員が無事でした。社屋の壁にはひびが入り、ロッカーや什器などが倒れて仕事ができる状態ではありませんでしたが、震災から三日後には営業を再開しています。被災されたお客様である販売店が元気を取り戻すには、一日も早い営業再開が重要だと考え、お客様を訪問し、必要なものをうかがって、毎回訪問時に支援物資のお届けを続けてまいりました。特に津波被害を受けた販売店には、当社の社員が毎日、朝から晩まで、ヘドロかき、後片づけに駆けずり回りました。また、自衛隊や宮城県警、東北電力から要請された事務用品、コピーペーパーなどを納品し、地元調達協力会社としての大きな役目を果たすことができました。

今回の震災では、社員の団結力が引き出され、お客様との絆がとても深くなりました。今後もお客様の営業再開支援を最優先に、日々の活動を続けてまいります。

株式会社 東京クラウン
宮城県 仙台市
東北統括支店長 **四木 幸次郎** 様

現地の販売店が一日でも早く、震災前の営業活動を取り戻すことが重要と考えています。

当支店の従業員の震災被害はありませんでしたが、倉庫の商品棚が崩れるなどの被害がありました。また、震災後の一週間は電気が復旧しなかったので、倉庫の片付けや、電話、PCを使った作業ができませんでした。

震災後は、販売店からファイルや乾電池が欲しいと要望があり、当支店まで商品を引き取りに来る方もいましたので、その際は手書きの伝票で対応しました。

復興支援として被災者に商品を無償で提供する案もありましたが、現地の販売店を支援するには、一日でも早く震災前の営業活動を取り戻すことが重要だと考えています。現在は、販売店が元気になってほしいという思いがあるので、具体的な要望をくみ取りながら施策を考えて、順次活動しているところです。

株式会社 ナリサワ
宮城県 石巻市
店長 **杉山 眞喜子** 様

当店を必要とするお客様のご要望に応えていくために、これまで以上に営業活動を強化していきます。

震災時は、津波の被害が大きく、建物の床上70cm位まで浸水しました。店頭や倉庫の商品はもちろん、事務所のコピー機や家具、営業車など広範囲にわたって物的被害を受けましたが、幸いなことに従業員が全員無事だったことが何よりでした。避難生活中は、従業員と協力して、近所で避難している方のために、石巻駅まで食料を取りに行ったり、従業員と一緒に近所の方に水や米を配布する活動をしました。

営業面では、ライフライン復旧までに時間がかかりましたが、お客様のご要望もあり、3月21日から営業を再開しています。すぐに必要なハンコと朱肉、領収書などの商品が多く買われました。また、メモ用紙が不足しているお客様には、コピー用紙を無料で提供しました。

震災被害の大きかった石巻市では、お店にお客様が戻ってくるまでには時間がかかりますので、今までの営業活動に加えて、新規開拓などで販路を広げていく必要があると考えています。

点字体験授業 —自社製品を活用したCSR活動—

キングジムでは、小学生から高校生までを対象に、自社製品である点字「テプラ」を活用した、点字体験授業を2007年より毎年実施しています。2010年末からは、ホームページで点字体験授業の参加校を募集開始し、より学校側のニーズに沿った内容で授業を展開しています。

2011年は、立川市立立川第八中学校の2・3年生、東久留米市立第五小学校の4年生、大田区立相生小学校の4・5・6年生を対象に授業を行いました。

授業では、キングジムの従業員から点字の由来や点字表記の仕組みを説明した後、実際に点字「テプラ」を使用して点字と印刷文字入りのラベルを作成します。この授業プログラムでは、子どもたちが点字を学ぶ上で、点字初心者でも簡単に点字翻訳できる点字「テプラ」を活用し、点字をより身近に感じてもらうことをねらいとしています。

点字「テプラ」とは

「テプラ」PRO SR6700Dは、点字の知識がない方でも、「自動点字機能」によってワープロ入力をするように、簡単に点字ラベルを作成することができます。

また、印刷文字と点字の両方を1枚のラベルで表示することができるため、貼る場所を間違えたり、上下逆さまに貼ってしまうミスを事前に防ぐことができます。点字ラベルに印刷文字を同時に表示すれば、健常者も点字表示の存在に注目し、目の不自由な方と健常者ともに分け隔てなく活用することができます。点字「テプラ」は、調剤薬局やホテル、百貨店など幅広い場所でご活用いただいています。

授業プログラム

1 点字の由来と点字「テプラ」の使い方を説明

2 点字と印刷文字つきの名前ラベルを作成

3 学校内で表示する点字ラベルの作成

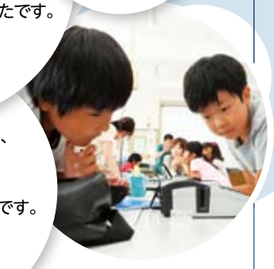
子どもたちの声

わたしは、「男子トイレ」と「女子トイレ」の点字テプラを作ってすこしは、バリアがへったかなと思いました。町にいろいろなバリアがいっぱいあることが話を聞いてわかったので、バリアをすこしずつでも、へらしたいです。

いつも点字をみても素通りしていて、打ったことがなかったけれど、今回自分で打ってみて、とても点字は身近なんだな、と思いました。もっと、点字のことを知りたいです。

自分の名前はこんな点字なんだな、と思いました。

ぼくは家に帰ってすぐお母さんに知らせるほど「すごい機械」だと思いました。あの日は、すごく楽しかったです。



ぼくがびっくりしたのは、逆さにしたら点字は、まったくちがう文字になってしまうということです。気をつけなきゃと思いました。

点字テプラをつかって、目の不自由な人にどのように打てばいいのかをとてもよく考えました。これからも点字のことを勉強していきたいです。

むずかしいイメージがあった点字がこんなにかんたんにできたのがすごくびっくりしました。

先生の声

キングジムの皆さんのおかげで楽しく点字を学ぶことができました。

4・5・6年生が対象の「わくわくスクール」でしたが、4年生はこれから国語の授業で点字を学ぶ機会があるので、今回学んだことが授業の導入として生かされると思います。

点字「テプラ」は、普段子どもたちが触ったことのない機械だったため、心をわしづかみにされたようで積極的に点字ラベルを作っていました。授業ではキングジムの皆さんが付きっきりで分からないことを、すぐに教えてくださったので、とても助かりました。教室で飼育している亀の名前の点字ラベルを作った子どもがいたので、早速貼って点字表示を広めていきたいと思います。

東京都大田区立相生小学校 **佐藤 祐介** 先生

顧客と社会への貢献となるような新商品の開発

近年キングジムの新製品は、アナログとデジタルの境界を繋ぐユニークなコンセプトで話題を集めています。その開発担当者は、どんな発想と試行錯誤で製品を生み出しているのか？ 文具の新製品の動向にも詳しい、文具コンサルタントの土橋 正さんにキングジムの話題商品の開発者にインタビューしていただきました。

ショットノート
「文具とデジタルの橋渡しをしたい」

2011年の発売直後から、ツイッターなどで大きな話題を呼んだ「ショットノート」。紙のノートの新発売がこれほどまでに注目を集めたことは過去においてあっただろうか。

この「ショットノート」を開発したのは商品企画部デザイン課の遠藤慎さん、そして商品開発部の清水貴仁さん。

社内でのミーティングがきっかけに

そもそもの開発のきっかけは社内で行われた、あるミーティングでのこと。そのメンバーに、マーケティング担当の女性が参加していた。彼女は几帳面な性格で議事録からアイデアに至るまで、何でも事細かくノートに書き込むタイプだった。そのことはミーティングに参加していたメンバーみんなも良く知っていた。

ミーティング中、過去に話しに出たあるアイデアが話題に上がった。と、その几帳面な彼女が自分のノートをめくって情報を探し始めた。みんな彼女のノートに注目した。しかし、あまりにもたくさんのことが書き込まれていたので、探すのに結構な時間がかかってしまった。

この状況を見て遠藤さんと清水さんはひらめいた。ノートに書き込んだ情報を素早く検索できると、これはきっと便利に違いない。

そして「ショットノート」プロジェクトがスタートした。

検索するためには手書きのアナログ情報をデジタル化しなくてはならない。まず考えられるのはノートをスキャンするという方法。しかし、これは難しいとすぐに諦めた。

テーマはズボラな自分たちにも使える

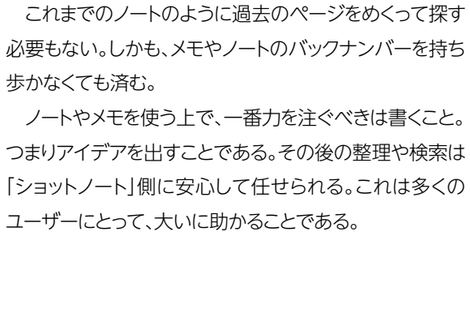
というのも遠藤さんも清水さんも根っから性格がズボラなので、いちいちスキャナーを持ってきてスキャンするというのはあまりにも面倒くさい。これでは結局、やらなくなってしまう。

そんなズボラな自分たちでも、手軽にできる方法はないだろうかと考え、ひとつ思いあたることがあった。それは、携帯電話のカメラで撮影するという方法。二人とも会議で配布された資料を携帯電話のカメラで撮影することは、これまでもよくやっていた。これなら自分たちでもできそうだ。そこでこの撮影するというスタイルを採用することにした。

撮影するだけなら、それこそこれまでの携帯電話のカメラでも十分。しかし、今回の商品のポイントは情報の検索性を上げることである。

そこで、専用のアプリを開発することになった。実はこの点こそ「ショットノート」の画期的な部分である。今や仕事でパソコンを始め、スマートフォンを使うというのは当たり前の時代。一方、従来のアナログ文具も使われ続けている。つまり、仕事をしていく上でデジタルとアナログを併用している訳だ。

（左）商品開発部　清水 貴仁　（右）商品企画部　遠藤 慎



ショットノート

その間を橋渡しする手軽なツールというものがこれまでほとんどなかった。あるにはあったが、たとえばそれは先程のような大掛かりなスキャナーなどだった。そんな中、「ショットノート」は、スマートフォン専用アプリ、そして「ショットノート」という構成でその橋渡しを見事に成し遂げた。このアプリによって、「ショットノート」に書き込まれたものだけを取り込むということができ、「Evernote」というオンラインメモストレージを使って連動させ、タグさえ付ければ必要なメモが検索できるようになる。

世の中を賑わす画期的な新製品やビジネスも、はじまりは一枚のアイデアメモがきっかけということが多い。しかも、そうした初期のアイデアメモは文字より図やイラストのものばかり。この絵を描くという点では、アナログの紙とペンを使うのがベスト。「ショットノート」に描いたものをスマートフォンで撮影して、情報を蓄積し、検索はデジタルで行う。このようにアナログとデジタルの双方の良さを実にうまく組み合わせている。

これまでのノートのように過去のページをめくって探す必要もない。しかも、メモやノートのバックナンバーを持ち歩かなくても済む。

ノートやメモを使う上で、一番力を注ぐべきは書くこと。つまりアイデアを出すことである。その後の整理や検索は「ショットノート」側に安心して任せられる。これは多くのユーザーにとって、大いに助かることである。

こはる
「テプラの常識をことごとく打ち破った」

マスキングテープに印字ができる“こはる”。2010年11月に発売され、5カ月あまりで当初目標としていた年間販売数を超えるヒットとなっている。

この“こはる”を開発したのは商品開発部の堀井信之さん、そして同じく今田ひろみさん。お二人とも長らくテプラの開発に携わってこられてきた方々。

ということで“こはる”は「テプラ」で培ってきたノウハウや技術が注ぎ込まれているのかな、と思っていたら、実はその多くは、むしろ「テプラ」の常識をことごとく覆すものばかりだった。

そもそも、この“こはる”のアイデアは「テプラ」に見向きもしてくれなかったという堀井さんの奥さんがきっかけであった。

こはる

堀井さんは「テプラ」の開発に長く携わっているので、当然自宅には「テプラ」があった。奥さんはお子さんの持ち物に名前をつけるといった時は「テプラ」を使っていたが、それ以外ではあまり手にすることがなかったという。

むしろ、ここ数年よく使っていたのが、巷で流行していたカラフルなマスキングテープ。堀井さんの奥さんはこのマスキングテープにペンで文字を書き、冷蔵庫に入れる食品に印を付けたり、節電に非協力的な旦那さんのためにテレビのリモコンに「主電源を切る!」といったものを貼るなど家の至るところでマスキングテープを活用していたという。

堀井さんとしては「テプラ」であれば、いちいちペンで書かなくてもいいのにと不思議でしょうがなかったという。

(左)商品開発部　堀井 信之　(右)商品企画部　今田 ひろみ

「合理性」より「かわいい」を優先する現代の女性

そんな堀井さんを横目に奥さんが、マスキングテープを楽しそうにせっせと作っていた。

奥さんのそうした様子を見ているうちに、マスキングテープに印字ができるアイテムを思いついたという。

ターゲットは20～30歳くらいの主に主婦の方々。マスキングテープは、まるで趣味的な雑貨のように多くの女性の心をとらえている。そこで印字する機械も雑貨感覚テイストにすることにした。

そもそも家庭で今ひとつ「テプラ」が普及しない理由のひとつに、ボディが大きすぎるという点があった。大きいとどこかに出しっ放しにすることもできず、結局しまわれることになってしまう。すると、いちいち出すのも面倒になり次第に使わなくなるという悪循環。

そのため“こはる”開発にあたってはボディをできるだけコンパクトにすることにした。そのコンパクトさは、なんと手のひらに楽々のってしまうほどだ。これを実現したのはテープを従来のカートリッジ式ではなく、ロール単体にしたことにある。“こはる”のマスキングテープでは和紙ということを生かし、その表面に感熱剤を塗布している。これによりインクリボンいらずの小さなロール単体を可能にした。

さらには、「テプラ」につきもののテープカッターも付けていない。マスキングテープの良さは和紙の柔らかな風合い。手でちぎった時のフサフサとした切れ目もマスキングテープならではの楽しさ。それを生かすことにもなるので、あえてテープカッターを付けなかった。

そして、小さなキーボードと液晶画面。これには社内からもかなりの難色が示された。キーボードが小さくては、そもそも打ちづらくなってしまう。しかし、小さくかわいいスタイルにすることが今回の女性ユーザーには必須ということで、堀井さんと今田さんは社内で説得し押し切ったという。

発売してみると、当初の社内の予想とは裏腹にこの小さなボディが「かわいい」と、多くの女性から好評を得ている。

主婦の方々にとってテプラを使うというのは、どちらかというと「仕方なくやっていたこと」だったのだろう。一方“こはる”は、どうやら多くの女性が楽しみながら使っているようだ。合理的で使いやすいものではなく、ちょっと使いづらくても、かわいらしいものを使いたい、という気持ちに応えている。

このように“こはる”は、ある意味「テプラ」で常識となっていたことの逆を行く商品とも言える。こうしたアイテムも商品化してしまうというところに、キングジムの懐の深さというものを私は感じた。

ピットレック

「アナログ感覚で名刺が整理できる」

なかなか整理できないものの代表が名刺。会社勤めが長くなる程に段々とたまっていく。この管理がやっかいで、昔のものといえども、捨ててしまう訳にもいかず、多くの人にとって、これまで悩みの種だった。

「ピットレック」を開発したのは商品開発部の佐藤賢亮さん。同じ部署の同僚が根っからの面倒くさがり屋で、もらった名刺をある程度の枚数でまとめて輪ゴムで束にしていた。必要な名刺を探す時は、その束の中からおそらくこれだろうと、あたりをつけ探すという超アナログスタイル。当然、時間はかかり、長い時は5分くらい探し続けることもあった。

この同僚のあたりをつけて探すということが「ピットレック」を開発する上でのひとつのきっかけとなった。

誰にでも使ってもらえる名刺管理ツール

この時、心に固く決めていたのが、マニアックな人向けの名刺管理ツールではなく、誰でも簡単に使えるということだった。

開発にあたって、佐藤さんの頭に真っ先に浮かんだのは自社の名刺ファイル。ポケットに名刺を入れると、1ページで10枚くらいの名刺が入るものだ。

このファイル式で名刺を探す時、人は文字で探すより、まず名刺のビジュアルでパッとあたりをつけている。

ピットレック

つまり名刺はビジュアルになっている方が多くの人にとって探しやすいということに改めて気付いた。

ただ名刺ファイルなら、見開きで20枚くらいだからまだ良いが、それ以上の数になると、名刺画像だけではどうしても検索がしにくい。やはりこの検索という点ではデジタルにはかなわない。そこで、佐藤さんは本当に検索に必要な部分だけをOCRでデジタル化することにした。それは「会社名」、「氏名」の2種類。

確かに私たちが名刺を探す時というのはこの2つのどちらかで探すことが多い。

この点がこれまであまたあった名刺管理ソフトと大きく違う点。これまでのものは名刺のすべての情報をテキストデータ化していくものだった。そもそもこうしたソフトを入手するほどの人は、マメな人が多く、一字一句間違いを修正しないと気が済まない人達なので、名刺を管理する前に登録で挫折してしまいがちだった。

その点「ピットレック」はテキスト修正を「会社名」と「氏名」だけに絞ったので、真面目な人はもちろん、面倒くさがり屋な人にも受け入れられたのだろう。

そして「ピットレック」がもうひとつ画期的なのが、パソコンにつながなくても使える点。

キングジム公式サイトからダウンロードできる、パソコン編集ソフトも利用できるが、基本的には名刺の登録から検索・閲覧まで本体だけで活用できる。スタンドアローンでも使える仕様を目指し、それが小さなカメラで撮影するというアイデアにもつながっていった。

「一瞬」で名刺を取り込める

スタンドアローンであれば、外出先でもちょっとしたスキマ時間に登録はできてしまう。名刺整理というのは、まとまった時間を作ってやろうとするとついつい年末の大掃除の時になりがちだが、こうしたスキマ時間にできるのはありがたい。

「ピットレック」の名前の由来は、F1の「ピットイン」など、一瞬の間に行うというイメージと、撮影の時に「ピッ」という音がすることからきている。そして「レック」は「レコード」のこと。一瞬のうちに記憶できるという機能を表している。

この「ピットレック」で、佐藤さんが最も苦労したことはという問いに、「すべてが苦労の連続でした」という答えが返ってきた。

中でも、誰でもが使いやすいよう名刺を探しやすくするシステム作りが大変だったという。最終的には「会社名」、「氏名」、「登録日」、「閲覧履歴」、「キーワード」などで検索していけるようになっているが、実は事前のマーケット調査では人によっては思いもよらぬ検索スタイルがあるということが分かった。たとえば、名刺を「駅ごと」に管理したり、住所の「区ごと」にカテゴリごとに分けるという人などもいた。

こうした人も「ピットレック」では、しっかりとユーザーとしていくため、自分で新しくフォルダーを作れるようにしている。

日々誰しもが悩んでいる名刺の検索。これを手軽に実現した「ピットレック」。あえて難しいことをせず、アナログのあたりをつけて探すということを取り入れたところにヒットの理由がありそうだ。

商品開発部　佐藤 賢亮

マメモ

「殴り書き用メモ」

「新人の頃よく電話を受けていました。聞き取った内容をメモするのに夢中でいつも文字は殴り書き状態。あまりにも汚いので、それを渡すことはできず、いつも清書していました。また、メモを付箋に書いてよくパソコンの周りに貼っていました。すると、ライオンのようにパソコンの周りは付箋だらけ。もう少しキレイにならないだろうか。また付箋だと、いつの間にやら剥がれてしまうことも多く、年末の掃除をしている時に机の下からメモが出てくるなんていうこともありました。」

こう話すのは商品開発部の東山慎司さん。

自らの悩みを解決するものとして、つくり出したのが「卓上メモ マメモ」だ。2010年8月の発売以来、年間の販売目標5万台を約半年で上回るヒットとなっている。

東山さんが開発当初に考えたのが、子どもの頃よく使っていた磁石のペンで何度も書いたり消したりできるおもちゃ。しかし、それではその都度消して、メモは保存できない。そこでデジタルタイプにすることにした。

一見すると、とてもシンプルなツールであるが、細部のつくり込みには、かなり気を配って作られている。たとえば、液晶画面の角度。これは、液晶が見やすく、そして書く時にも違和感がないように設計されている。

そして、ペンのボディライン。握る部分は少し山のように盛り上がっている。これは握る時にあまりペン先側を持たないようにしてもらうため。というのも、ペン先側を持つとペンを持った手が「マメモ」の液晶画面に触れて反応してしまうため。そこで、書く時に、手が画面に触れないように、あえてペンの上側を自然に持ってもらうようデザインされている。

自分のために書くメモツール

東山さんの当初の悩みを解決してくれる「マメモ」が商品化され、紙のメモや付箋を全く使わなくなったかと言えば、実はそういうことはないという。

なぜなら、この「マメモ」はすべてのメモに取って代わるものではない。そもそも、メモには大きく分けて2種類ある。ひとつは伝言メモのように誰かに渡すもの。そしてもうひとつが自分のためだけに書くメモ。

卓上メモ「マメモ」

この「マメモ」は、後者の自分のためだけに書かれるメモに特化した商品である。

この自分のために書くものとして実は最も多いのが、いわゆる「ToDo」。

商品開発部　東山 慎司

一般的にはメモを書く時は、この用途が結構多い。そのため「マメモ」にはToDo機能が付いている。書いたメモに期日として締切日を時間まで設定でき、その時間になると教えてくれるようになっている。

締め切り時間になって気付くのは遅いので、設定する時は、1時間前や1日前にリマインドしてくれる機能が備わっていると、より便利かもしれない。

ハンディタイプも登場

卓上タイプだった「マメモ」に外出先でも使えるハンディタイプが仲間入りした。外観はまさにアナログメモスタイル。中を開けると液晶の画面になっており、付属のペンで画面をタッチするとすぐに起動する。

アナログメモよりも優れている点は、1ページを書き終えて、もう少しだけ書き足したいという時。画面をスクロールすると、さらに半ページ分だけページを下に増やせて、約1.5枚分書ける。

しかも、今回のハンディタイプでは、書いたメモをマイクロSDカードを経由してパソコンに移すことも可能。

ハンディメモ「マメモ」

東山さんは今後ノートタイプというものも構想に入れて開発しているという。こちらも楽しみだ。

Interviewer

土橋 正（文具コンサルタント）

文具の展示会「ISOT」の事務局を経て、土橋正事務所を設立。国内・海外の文具メーカーを対象に商品企画やPRなどのコンサルティングを行っている。また、文具ウェブマガジン「文具で楽しいひととき」http://www.pen-info.jp/の発行をはじめ、新聞、雑誌など文具特集にも多数参画している。オールアバウトのステーショナリーガイド。著書「仕事にすぐ効く魔法の文房具」、「文具の流儀　ロングセラーとなりえた哲学」東京書籍。共著「ステーショナリーハック!」マガジンハウス。

パートナー企業との連携

独創的な商品開発を行う上でも、技術やノウハウを持ったパートナー企業との連携は重要です。
最近の商品でご協力いただいた企業を紹介します。

シヤチハタ × キングジム

自動日付印「スグオシ」

自動日付印「スグオシ」はシヤチハタ株式会社とのコラボレーション商品です。日付印とコントローラのセットで、毎日決まった時間にコントローラが印面を更新します。
印面技術や印面の販売方法など未知の部分が多く、印章業界トップのシヤチハタ様に企画を提案し、共同で開発を進めました。両者の強みを生かした画期的な日付印です。

現在のオフィスワークにおいて日付印を捺印する機会は、年々多くなり、その日付けを毎日変更することは非常に煩わしく、自動で日付を変更できたら？という発想から電子文具が得意のキングジム様とのコラボレーション商品「スグオシ」の開発が始まりました。

ハンコという趣き、風合い、アナログ的な感覚の世界に、電子制御というデジタル的な規則正しさを正確に再現するのに試行錯誤し、会社の枠を超えた試みにより、新しい価値を創造でき、将来への可能性を強く感じることのできる商品ができたと思います。

シヤチハタ株式会社 国内商品開発部
中野 啓二 様

ジャストシステム × キングジム

相性抜群の「一太郎」と「ポメラ」

株式会社ジャストシステムのワープロソフト「一太郎2011創」では「ポメラ」との連携を搭載しました。
「一太郎」は編集機能に優れている反面、かならずPC環境が必要なのでどうしても携帯性・即時性に難があります。その難点を解消してくれるのが「ポメラ」との連携です。

PCにつないだ「ポメラ」のメモを直接「一太郎」に取り込めるといういたってシンプルなものですが、出先で書いたメモを、加工して共有するという利用シーンはやはり多いのでしょう。今では大変お客様にご好評いただいています。

お客様の利便性を考え抜いて製品作りに生かすという姿勢はキングジム様と当社とでは通ずるものがあると感じています。こんな連携がいろいろな製品で実現することを期待しています。

ポメラをUSBケーブルで
パソコンに接続すると、自動的に、
ポメラ内の文書ファイルが
一覧に表示されます。

株式会社ジャストシステム
コンシューマ事業部 企画部
大野 統己 様

セイコーエプソン × キングジム

テプラ × 減価償却応援

セイコーエプソン株式会社の固定資産管理ソフト「減価償却応援」に、備品管理ラベルの作成に便利な「テプラ」からのラベル印刷機能を搭載しました。経理・総務部門で日常的に使用されている業務用ソフトと「テプラ」が連携し、オフィスの効率化を支援します。

出力ラベル例

「減価償却応援／InterKX減価償却」は、固定資産／リース物件の管理を行い、法人税／固定資産税等の申告データを作成するソフトウェアです。固定資産／リース物件のラベル印刷に、キングジム様のテプラは最適です。ご協力いただき、仕様検討から開発までスムーズに進みました。この機能は、弊社の他の会計ソフトでも活用する方向で検討中です。

セイコーエプソン株式会社
映像機器事業部 VA事業推進部
高田 誠 様

セイコーエプソン株式会社
ビジネスシステム事業部
AC事業推進部
村田 和男 様

誠実なコミュニケーションを重視し、お客様との信頼関係を構築

商品は、ユーザーの手元で活用されて初めて価値を生みます。
キングジムの商品を安心して購入、活用していただくために、さまざまな活動を通じて、
お客様の信頼を育んでいます。

Toffy LANDMARK PLAZAの店内にて

ユーザー視点に立ったサービスの提供

キングジムでは、商品を長期でご愛用いただくことを目指し、顧客との信頼関係を築いています。
ユーザーへのサービスの提供は、問題解決のお役に立てるよう、提案型のアプローチに力を入れています。

Toffy THE SHOP

「Toffy」(トフィー)はキングジムとキングジムのグループ会社である株式会社ラドンナ、株式会社Gクラッセが協力して開発をする、20代以上の女性をメインとした雑貨ブランドです。鮮やかなカラーが特長で、文具からアロマディフューザーなど幅広く揃えています。現在は、東京・汐留の「Toffy SHIODOME」、東京・池袋の「Toffy Esola IKEBUKURO」、神奈川・横浜の「Toffy LANDMARK PLAZA」のアンテナショップを3店舗展開しています。

レンタルフラワー

2011年2月より、グループ会社でアーティフィシャル・フラワーの企画・販売を行う、株式会社アスカ商会とのコラボレーションにより、造花のレンタル・販売事業「フローレント」を開始しました。

同事業は、株式会社アスカ商会の扱う花材を使用したフラワーアレンジメントや人工観葉植物を、当社の主力顧客である法人を対象に、季節ごとにお届けするレンタルサービスです。

キングジムの主力販売ルートである、文具事務用品の「法人向け納品ルート」を活かし、事業を展開しています。

レンタルフラワーの一例

外国語ラベル工房

2010年1月からラベルライター「テプラ」を活用し、英語や中国語、韓国語のラベルの作成が簡単にできる専用サイト「テプラ外国語ラベル工房」の無料サービスを開始しました。

「テプラ外国語ラベル工房」は、公共施設や店舗、観光地など外国人がよく訪れる場所で利用頻度の高い案内文や注意喚起の内容が約2,000文例あり、文例を選ぶだけで英語・中国語(簡体字)・韓国語に翻訳された、表示ラベルを手間なく作成できます。850種類以上の絵記号と合わせ、表現力の高いラベル作成が可能です。

2011年7月には、災害時における避難所での表示や防災に関する案内、注意喚起などを約800文例追加しました。

アカデミーラウンジ

キングジムでは、タイムシェア自習室「アカデミーラウンジ」の運営を開始し、2010年7月に東京都豊島区・池袋に「アカデミーラウンジ・池袋」、2011年10月に東京都千代田区・水道橋に「アカデミーラウンジ・水道橋」をオープンしました。

資格試験などの専門的な勉強をするビジネスマンや、定期試験や受験勉強をする学生など、お客様のライフスタイルに合わせてお選びいただける完全会員制の自習室です。

WEB タイムシェア自習室 アカデミーラウンジ
http://www.kingjim.co.jp/academylounge/

顧客とのコミュニケーション

お客様の声は私たちの大切な財産です。「現在のお客様」はもちろん「これからのお客様」の信頼にも応えるため、さまざまなコミュニケーションを通して、顧客満足の向上に努めています。

お客様相談室による継続的コミュニケーション

キングジムではお客様のお問い合わせ窓口として「お客様相談室」を設置し電話やメール、FAXなどによる商品に関するお問い合わせを受け付けています。2011年度はフリーダイヤル・メールを中心に8万8千件のお問い合わせをいただきました。

お客様相談室で得られたお客様の生の声は、キングジムグループの貴重な財産として、企画・開発・設計・製造・販売・サービスなどすべての事業活動にフィードバックされます。

品質保証活動

お客様相談室では2011年度にお客様からの情報をもとに、ホームページや製品取扱説明書の記載内容・商品の改良提案など約130件の改善要望書を社内関係部署へ提出しました。

商品事故への対応

キングジムでは2011年6月にバイブレーションスピーカー「プレオン」の自主回収を実施しました。概要は右上の通りです。お客様には多大なご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

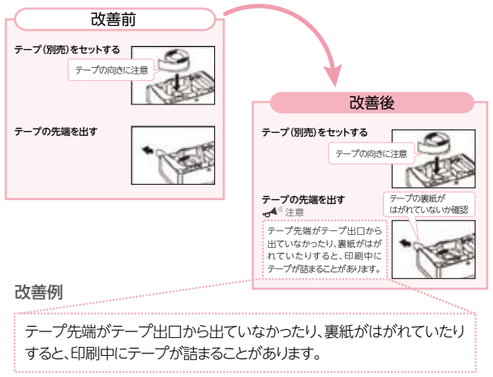
商品事故の情報に対しキングジムでは関係部門と連絡を取り、品質保証の課題と対策、対応について協議・共有化をし、再発防止や品質保証体制の強化に取り組んでいます。

バイブレーションスピーカー「プレオン」の自主回収

2011年6月、キングジムより発売いたしました、バイブレーションスピーカー「PREON(プレオン)」VS1におきまして、発熱・発煙等の事例が報告されました。これを受けて、当該製品につきましては販売を中止するとともにホームページに自主回収案内を掲載。当該商品を自主回収し、この対応も含めて経済産業省へ報告しました。

お客様の声を活かした商品改善

マスキングテーププリンター“こはる”の取扱説明書においてテープ装着方法の説明が不十分とのご指摘をいただき、追加の記載を行いました。



改善例

テープ先端がテープ出口から出ていなかったり、裏紙がはがれていたりすると、印刷中にテープが詰まることがあります。

情報活用の啓発

「快適な情報活用環境を創造する」これがキングジムの企業ドメインです。商品をご提供するにとどまらず、さまざまなメディアを通じて、分かりやすく簡単に実践できる情報活用のノウハウを発信しています。

無料ファイリングセミナーの実施

ファイリング研究室では、ファイリングに関する無料公開セミナーを定期的に実施しています。また各地でも代理店や販売店の主催する顧客向けセミナーに協力しています。

2011年5月には、より多くのお客様にセミナーをお聞きいただくために、初めての試みとしてUSTREAM*によるインターネットライブ配信を実施しました。従来のセミナーとは趣向を変えトークライブ形式とし、ご視聴されるお客様にはお気軽にご覧いただける工夫をしています。

* 「USTREAM」は、米USTREAM社の商標です。

USTREAM配信画面(イメージ)

パソコン画面を通してご視聴いただくので、製品の見せ方や話し手の立ち振る舞いなどに気を遣いました。これからも「生の声」で情報を発信できる媒体として、幅広く活用していきたいと考えています。

営業戦略部　**松永 健**

オープンファイリングシステム

多種多様な業務に対応できるように、当社では情報ライフサイクルに沿った管理方法と最適な用具を組み合わせたファイリングシステムを提唱しています。書類の運用状態やルールが誰でも分かりやすく「見える」ことを重視し無理なく継続できるファイリングシステムです。多くの企業で課題とされる電子文書管理においても書類の流れに沿ったファイリングシステムの考え方を応用しトータル・ファイリングシステムとしてご活用いただけます。

A 仕掛りファイリング

1案件1フォルダーに入れてボックスに立てて管理

- 机上に複数の仕事を広げることがない
  →文書、情報が混ざらない
- 案件ごとに優先順位を決めて仕事に取り組める
- メンバーの業務量を把握できる
- 仕掛りボックスは他の人でも閲覧できる
  →情報の共有化

B MAILファイリング

回覧、外部からの文章、提出物などはMAILボックスに立てて伝達

- メンバーに確実に回覧、提出できる
- 不在、離席中でも確実に渡せる
- 情報の停滞、閲覧の済んでいない人がわかる
- 回覧情報が他の文章に紛れ込むことがなくなる

C 保管ファイリング

グループ共有のオープン収納棚で管理

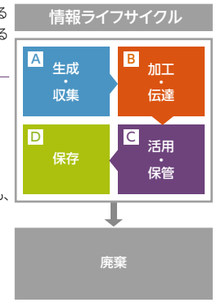
- 管理状態が見える
- 整理された状態を保とうとする
- 意識が維持しやすい

統一的なルール付きの見出しを表示

- 書類にあった用具を自由に選択しながらも、統一感のあるオフィスを実現

見出しはファイリングルールも併記

- ファイル管理表を参照しなくとも、誰でも正しくファイルを置き換え、廃棄できるオフィス環境を実現



ISOTに出展

文具展示会「国際文具・紙製品展ISOT2011」では、商品を手にとって触っていただける「体験コーナー」を設置しています。このコーナーでは商品の良さをお客様に実感していただくとともに、当社においても貴重なご意見をいただける場となっています。

ISOTの体験コーナー

新製品プロモーションによる顧客接点の拡大

2011年は新規概念をもった新製品を数多く発売しました。新製品の理解促進のため流通向けの勉強会を随時実施しています。また企業様のロビーをお借りして新製品をご紹介するイベントも、販売店の協力のもと実施しています。

販促勉強会

代理店・小売店とのパートナー関係

代理店との製販会議(販促会議)を実施しています。相互の情報交換により効果的な販売促進を心がけています。またToffyシリーズなど雑貨系の商品群では、商品特性に応じた売場展開を小売店へ提案し実績を上げています。

Toffy売場展開

広報活動

対外広報活動として、1年間(2010年5月1日～2011年4月30日)にIR関連12本、製品関連36本、合計48本のニュースリリース(記者向けの情報ペーパー)をメディアに発表し、ホームページでも公開しています。

事実を重視し、虚飾情報を排して積極的に情報開示する姿勢によって、皆様に信頼される広報活動を積み重ねています。

新製品発表会

広告宣伝活動

広告宣伝活動では、お客様に対して商品の特性についてより分かりやすく、共感を得られる表現を目指しています。宣伝活動に使用する媒体は、広く社会に受け入れられ、認知されているメディアを、コスト効率なども勘案しつつ、選定しています。

2010年11月末より実施した首都圏JRでの交通広告

従業員が能力を発揮し、いきいきと活躍できる職場づくりを推進

従業員も企業にとっては重要なステークホルダーです。
この章では従業員等との関わりについてキングジムの現状をまとめています。

社員コーチング研修の様子

人材育成のための研修

キングジムでは、従業員一人ひとりがチャレンジ意欲を高めて、能力を最大限に発揮できるよう、
より働きがいのある職場環境の構築を目指し、さまざまな施策に取り組んでいます。

能力開発制度

キングジムでは、自立型の人材育成を目標とした能力開発制度に基づき、研修プログラムを計画・実施しています。2011年は、経営人材育成のための「経営戦略研修」や、上司と部下がともに成長できる職場風土の醸成を図り、自己革新を推進することを目的とした「組織活力育成研修」等を実施しました。さらに、ビジネスの国際化に伴い、社員の語学研修にも力を入れています。海外との取引が発生する部門の社員を中心に、レベルに応じた英会話研修を実施するとともに、2010年からは中国語会話研修も新設しました。また、新入社員から管理職までの従業員が、いつでも何度でも自分の都合に合わせて学習できる研修システムや、eラーニングシステムなども整え、従業員の自己啓発も積極的にサポートしています。

中国語会話研修

外国出願の代理人との英語によるやり取りの機会が増え、語彙力の乏しさからそのやり取りにもどかしさを感じていました。レッスンを受講したことで、発言に自信を持てるようになりました。

知的財産部　**日根 洋一**

チャレンジできる職場環境

従業員のチャレンジ意欲の向上と能力の一層の発揮を促し、企業風土の活性化を図ることを目的として、「キャリアチャレンジ制度」と「社内ベンチャー制度」を実施しています。キャリアチャレンジ制度は、人材を募集する部門の求人情報を社内LANに公開し、意欲や能力のある従業員を広く社内から募集する制度です。対象者は社員だけでなく、契約社員・パートタイマーまで含め、幅広く応募できる仕組みとなっています。社内ベンチャー制度は、当社の理念や企業ドメインの範囲内で、新たな起業の事業企画を広く全社より募集する制度です。この他にも、若手社員を中心とした選抜メンバーによる新規事業を企画するプロジェクトを実施するなど、社員の起業意識や経営参画意識の向上に努めています。

キャリアチャレンジ制度の求人情報は
社内LANで公開しています。

従業員の状況

年度		2007	2008	2009	2010	2011
キングジム	男性	417名	409名	393名	351名	349名
	女性	125名	119名	109名	86名	87名
グループ全体		1,082名	1,177名	1,454名	1,715名	1,791名

対象範囲：キングジム本社、国内工場および物流センター
＊ 2011年6月20日現在

社内ブログ

キングジムでは、社内コミュニケーションの活性化を目的とした「キングジム社内ブログ」を実施しています。社長ブログをはじめ、各部門のグループブログや、当社情報の最新ニュースなど、社内間で多岐にわたる話題が提供できます。

また、社員個人でブログを作成することも可能で、日常業務の内容にとどまらず、プライベートの情報も発信することで、部門を越えたコミュニケーションに貢献しています。

社長ブログ

いきいきと働ける職場づくり

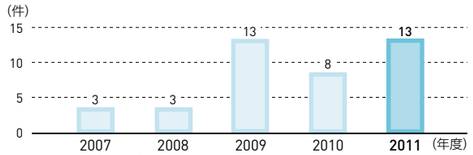
安全で安心して働ける職場環境は、すべての事業の基本となる重要な要素です。キングジムでは、従業員の安全衛生管理に努めるとともに、自由闊達に意見具申のできる環境を実現しています。

安全衛生

職場の安全・衛生面に配慮した労働環境を提供するために、安全衛生委員会が中心となって、労働災害の防止や従業員の健康維持のために取り組んでいます。2011年度の休業に至る労働災害の発生件数は13件で、残念ながら増加となりました。発生した事業所はいずれも海外の生産グループ会社であり、キングジム・インドネシアで4件、キングジム・マレーシアで1件、キングジム・ベトナムで8件となっています。

特に発生件数の多かったキングジム・ベトナムをはじめ、国内・海外生産グループ会社を含めたグループ全体での労働災害ゼロを目標として、当社では今後も引き続き防止活動の推進を強化していきます。

休業に至る労働災害発生件数



＊ 国内・海外グループ会社を含む

健康管理の推進

従業員の健康づくり、病気の予防と早期発見のため、健康保険組合と連携し、健康管理を進めています。メタボリックシンドローム予防のための特定健診、特定保健指導が実施されており、従業員の健康管理について保健師による個人への保健指導や栄養診断等を行っています。

また、インフルエンザ予防のために予防接種を推奨し、健康保険組合から費用の補助制度もあります。

さらに、具体的な取り組みとして、安全衛生委員会主導のもと、メタボリックシンドロームの予防をテーマに、予防策や克服策を社内で掲示するなどの啓蒙活動を行っていきます。他にも喫煙対策として、受動禁煙防止のための完全分煙の徹底に加え、オフィスに隣接する喫煙室については、利用時間の設定を行いました。今後も、喫煙場所の削減や禁煙推奨活動についても、取り組み課題としています。

メンタルヘルスケアの取り組み

メンタルヘルスケアに対する従業員の意識を向上させるため、全従業員が、eラーニングシステムによりメンタルヘルスケアの基本に関するコースを受講しています。

また、管理職に対しては、万一メンタル不全者が発生した場合の早期発見・早期治療につながる二次予防の観点から、マネージャーとして必要な知識を、別途コースにて受講させています。さらに、新入社員研修のプログラムにも、メンタルヘルスケア研修を取り入れています。

eラーニングシステムを使った
メンタルヘルスケアの受講

従業員の多様性の尊重

キングジムでは、多様な価値観を尊重し、性別・国籍・人種・宗教・障がいなどにとらわれず、各人が働きがいを持ってその能力の発揮ができるよう、職場環境の整備に取り組んでいます。

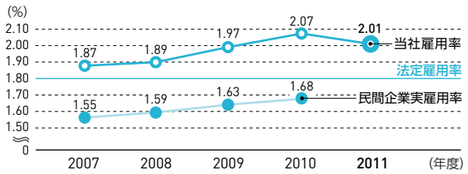
新入社員の採用においては、男女の割合をできるだけ同じようにするよう努め、男女差が無い採用活動を行っています。また、人事制度にはグループ転換制度があり、意欲のある従業員は審査を経てグループ転換することにより、やりがいのある仕事を担当し活躍することができます。

今後も多様な価値観を尊重するため、人事面の施策や職場風土の改革などを推進します。

障がい者雇用

キングジムでは、障がい者の雇用に継続的に取り組んでおり、2011年の障がい者雇用率は2.01%となりました。法定雇用率である1.80%や、全民間企業の平均雇用率を上回る雇用率を維持しています。このような取り組みが認められ、「平成23年度　障害者雇用優良事業所等表彰」において独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構理事長努力賞を受賞しました。

障がい者雇用率



当社では、障がいを持つ従業員も健常者と同じ職場で、さまざまな業務に従事しています。今後も、障がいの有無にかかわらず活躍の場を広げ、能力を発揮できる会社を目指していきます。

ワークライフバランスへの取り組み

キングジムでは、従業員がいきいきと仕事に取り組み、充実した家庭生活を送るための職場環境づくりに努めており、社員の多様な就業ニーズに応える支援体制を整えています。ワークライフバランス実現のため、総労働時間削減策の一環として、毎週水曜日を「ノー残業デー」としています。

育児休業期間については、育児休業取得者の意見を参考にし、保育園の入園時期を配慮した時期まで延長するなど、安心して働ける環境づくりを目指しています。また、業務の都合に合わせて、勤務時間を自ら変更できる「時差勤務制度」を導入し、フレキシブルな労働時間管理ができるように環境整備を行っています。

育児休業取得者の声

今年4月、2度目となる育児休暇から復帰しました。上の子同様、保育園入園と同時に病気続きで迷惑をかけ通しですが、育児に慣れた分、以前より落ち着いて対処できるようになった気がします。

たくさんの方達に支えられていることに感謝しながら、私自身も子供達と共に成長できたらと思います。

環境推進室　**高橋 由希子**

裁判員制度への対応

キングジムでは、裁判員制度の実施に伴い、社会的責任の一環として従業員が安心してその責務を果たすことができる環境を整えるため、裁判員制度休暇細則を定めています。

従業員が、裁判員候補者・裁判員・補充裁判員に選出されて公務を行う際に、必要な日数について特別休暇が付与されます。この細則は、嘱託社員・パートタイマーにも適用されます。

自己申告制度

自己申告制度は、希望する職務や勤務場所、職場での課題、事業方針や部門運営、人事諸制度の改定についてなど、従業員の率直な意見を、経営トップに対して直接伝えることができる制度です。

対象者は、キングジムおよび国内のキングジムグループに勤務する全従業員とし、社員だけでなく派遣社員、嘱託社員、パートタイマーからも幅広く意見を聞いています。

育児・介護支援制度

制度	内容
産前産後休暇	産前6週間、産後8週間（多胎妊娠の場合は、産前14週間、産後8週間）
特別休暇	配偶者の出産のための特別休暇（4日付与）
子の看護休暇	就学前の子の負傷・疾病による看護のための休暇 （当該子が1人の場合は年5日、2人以上の場合は10日）
育児休業	出産後、子が満1歳に達する日までの育児のための休業 （ただし、最長1年6カ月まで、または、1歳に到達した後の4月15日まで延長が可能）
介護休暇	要介護状態にある家族の介護のための休暇 （1人の場合は年5日、2人以上の場合は年10日）
育児短時間勤務	1日の労働時間を2時間まで短縮可能
介護短時間勤務	1日の労働時間を2時間まで短縮可能

配偶者の出産のための特別休暇取得率　単位：%

2007	2008	2009	2010	2011
85.0	100	94.7	92.3	93.8

育児休業取得率（女性）　単位：%

2007	2008	2009	2010	2011
100	100	100	100	100

人権の尊重

キングジムでは、2004年に制定されたコンプライアンスプログラムにより、基本的人権の尊重、労働関係法令の遵守、ハラスメントの禁止などを設定し、具体的な注意事項についても明記しています。

また、万一コンプライアンス上の問題となるおそれのある行為に接した時、職制・部門間での自浄的な是正が困難な場合でも、外部の担当弁護士に直接通報し、通報者の名前が秘匿される「スピークアウト制度」を設けています。

＊ スピークアウト制度については、P40参照

社会とのつながりを深める企業活動の推進

キングジムグループでは、企業も社会の一員であることを認識し、
社会とのつながりを深める活動を行っています。

インターンシップ活動の様子

社会貢献活動の推進

キングジムグループでは、自社商品を使った教育支援や、障がい者支援など、
さまざまな分野で社会貢献活動に取り組んでいます。

インターンシップ

キングジムでは、大学生の夏休み期間を利用して、インターンを継続的に受け入れています。2011年度も、2週間にわたって2名の大学生を受け入れ、人事総務部において就業体験をしていただきました。

国際社会とともに

インドネシア、マレーシア、ベトナムの3カ国に生産拠点を構えるキングジムにとって、国際社会との結びつきも重要となってきており、現地社会と協調するための活動にも積極的に取り組んでいます。

P.T. KING JIM INDONESIAでは、地域の小学校向けに、毎年卓球台を寄付する活動を実施するなど、現地社会との信頼関係作りを推進しています。

会社訪問

学校教育の職業教育やフィールドワークの一環として、会社訪問の受け入れを2006年より行っています。

プログラムには社内のフロアの見学や生徒の皆さんとキングジムの社員が直接対話できる質疑応答の時間を設けています。2011年は東京都立一橋高等学校の皆さんが会社訪問されました。

障がい者との協働

2009年度より、千葉県松戸市にある障がい者就労施設「ふくし館ぱれっと」へ業務委託を行っています。

主な業務委託内容は、複合材を処理する際、素材別に分別・解体をしていただくリサイクル業務です。これまで産業廃棄物として処理せざるを得なかったものがリサイクル可能となり、環境負荷低減にご協力をいただいています。

「エコキャップ運動」への参加

キングジムは、2009年10月より「エコキャップ運動」に参加しています。この運動は、ペットボトルのキャップを分別収集し、再資源化業者へ売却することによりCO_2の発生抑制に寄与できると同時に、キャップの売却益で世界の子どもたちにワクチンを届けるというものです。2011年8月現在、64,080個(505kg分のCO_2削減、ワクチン約80.1名分)をNPO法人エコキャップ推進協会へ送付しました。キングジムでは、今後も当該運動を続けていく予定です。

教育支援・環境保護

教育支援活動として、高円宮杯全日本中学校英語弁論大会に、協力企業として2004年より継続的に支援を続けています。また、環境保全活動の一環としては、1992年より公益財団法人日本野鳥の会、1993年よりWWFジャパンの法人会員となり、協賛を続けています。

高円宮杯全日本中学校
英語弁論大会

企業活動のあらゆる面で環境への配慮を実践

キングジムグループは、製品を供給するメーカーの立場として、
製品が製造され、使用され、廃棄されるまでのライフサイクルを検討し、各ステップでの対策を追求しています。
また、企業活動全体として、環境への影響に配慮した多様な活動を展開しています。

キングジム・インドネシア
工場用水循環利用システム
クリアーファイルを生産するキングジム・インドネシアでは、材料を冷却する過程で使う水をリサイクルし、水と電気の使用量を抑えるシステムを構築中です。

環境マネジメント

文具・事務用品メーカーとして商品を供給する立場から、
キングジムは「環境憲章」を制定し、社会の一員として責任ある取り組みを行っています。

環境憲章

次世代のために、私たちは取り組みます。
For the next generation

環境理念

キングジムグループは商品を供給する立場から、資源の有効活用を積極的に行い、地球にやさしい商品の開発・生産につとめます。
キングジムグループは社会の責任ある一員として、自然との共生をめざし、地球環境の保全につとめます。

環境憲章
キングジム環境憲章は、1998年1月に制定されました。

行動指針

キングジムグループは自然との調和を経営の重要課題としてとらえ、企業活動の全域で環境へのやさしさを優先して行動します。

- 開発・設計の段階から環境・安全性を考慮し、環境保全に適合した省資源・環境配慮製品の提供につとめる。
- 生産・販売・物流・廃棄などの各段階で、環境保全に貢献できる資材やシステムを積極的に取り入れる。
- 環境に関する法規制を遵守するとともに、自主管理規制を設定し環境管理の向上につとめる。
- 社内の環境教育を行い意識の向上をはかるとともに、環境保全活動を通して社会に貢献する。
- 環境管理の組織、運営制度を整備し、環境改善施策を実行し自主管理の維持向上につとめる。
- 環境に関する方針を必要に応じて開示し、環境保全につとめる。

環境推進体制

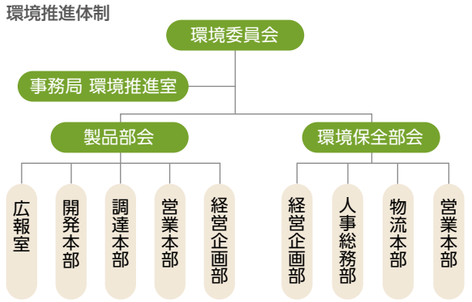
キングジムでは、環境担当役員のもと、環境課題に積極的に取り組み、かつ迅速に対応するために、環境委員会（事務局 環境推進室）を開催しています。商品の環境配慮化を検討する「製品部会」、社内外における環境保全を検討する「環境保全部会」の2部会制で、それぞれのテーマについて議論、検討を重ねています。

2011年度に検討したテーマ

製品部会	① グリーン購入法 ② 環境表示の信頼性確保 ③ 容器包装リサイクル法 ④ エコマーク　等	環境保全部会	① GHG進捗管理 ② ISO26000 ③ LED照明 ④ 省エネ対策　等

また、両部会を通じて「生物多様性」についての情報共有化を図り、今後のキングジムグループとのかかわり方等、知識を深めました。

環境推進体制



環境教育

企業の環境負荷低減には、個々の社員の意識や知識向上が不可欠です。キングジムでは、毎年4月に、新人研修プログラムの一環として、新入社員に対する環境教育を実施しています。自社製品の環境配慮ポイントや、キングジムの環境への取り組み、企業と環境とのかかわりについての理解を深め、今後の業務に応用してもらうことを目的としています。

環境教育の様子

社内に対する環境のPR

キングジムグループ内で取り組んでいる、地球温暖化防止施策（P32参照）についてのポスター掲示の他、「チャレンジ25」参加企業として、毎年「COOL BIZ」「WARM BIZ」を実施しています。また社内ブログを通じて、環境に関する話題や取り組み事例等を随時紹介し、社員の意識向上を図っています。

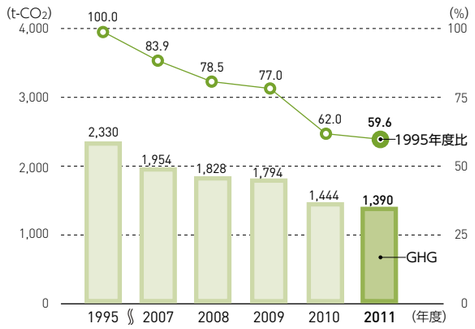
チャレンジ25 社内掲示ポスター

WARM BIZ 社内掲示ポスター

温暖化防止

地球温暖化を防止するために、GHG（温室効果ガス）排出量を削減することが重要だと考えられています。
キングジムグループは、さまざまな省エネルギー対策を実施することで地球温暖化防止に取り組んでいます。

GHG排出量推移（単体）



対象範囲：キングジム本社、国内工場および物流センター

具体的施策

(1) 室内温度管理の徹底
　冷房時と暖房時における室温管理
(2) 照明管理の徹底
　不要な照明の消灯や早朝時や残業時は、必要な箇所のみ点灯する
(3) OA機器管理の徹底
　会議や昼食時における、離席時のパソコンのディスプレイはスイッチOFF
(4) アイドリングストップの徹底
　営業車等の当社自動車は、駐停車時にアイドリングストップを実施する
(5) エレベーター使用における効率化
　階段を利用して昇降出来る階数については、出来るだけ階段を利用する

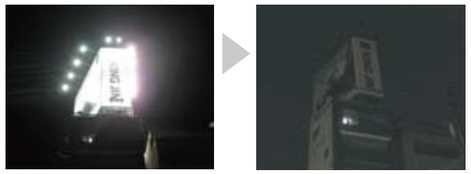
地球温暖化防止への取り組み

地球温暖化防止策として「2010年度までに1995年度比マイナス16%を達成する」という目標を掲げてきましたが、目標より早い2007年度に達成することができました。

現在は、海外生産拠点の増設に加え、Toffy THE SHOPやタイムシェア自習室等、従来のオフィス型とは異なる形態の事業所がオープンし、キングジムグループ内の環境が大きく変化しています。これまでのグループ一律の削減施策だけでなく、事業所それぞれの特性に合わせた施策についても今後の検討課題として取り組んでいきます。
（具体的施策については、左囲みを参照）

ライトダウンキャンペーン

環境省が、地球温暖化防止のためにライトアップ施設や各家庭での一斉消灯を呼びかける「CO_2削減／ライトダウンキャンペーン」に、毎年参加しています。キングジムでは、社内ブログを通じて社員のキャンペーン参加を呼びかけました。広告塔については、現在は節電のため、常時消灯しています。



麻布屋外広告塔

社内提案制度

キングジムでは、社内提案キャンペーンを実施しています。通常業務や生産性向上につながる「業務・事務改善提案」、身近な省エネやエコに関する「環境に関する改善提案」をテーマに、誰でも自由に応募することができる制度です。環境に関する改善提案は、環境委員会でも取り上げられ、実施の際の効果や全社への展開の可能性等を検討しています。2011年度には18件の提案がありました。

提案内容

- 空調機の稼動制限
- データ化による紙資源の削減
- 遮光対応策　等

デマンド値の管理

千葉県松戸事業所では、デマンド（最大需要電力）数値の把握を行っています。デマンド警報機能による管理によって、節電意識が高まっただけでなく、契約電力を抑えることで、コストダウン効果も表れています。

デマンド警報による消費電力の管理

環境意識の啓発

キングジムはホームページや展示会を通じて、自社商品の環境情報を分かりやすく公開しています。
ユーザーへの環境情報の提供を通じて、環境への意識を啓発していきます。

キングジム環境マーク*

製造ステップ

商品の主要な部材に「再生紙」や「再生PP」、「再生PE」などを利用することによって、省資源化を進めます。商品の企画・設計から環境配慮を重要テーマと位置づけています。

ECOLOGY 再生紙　ECOLOGY 再生PP　ECOLOGY 再生PE
ECOLOGY 再生PS　ECOLOGY 非木材紙　ECOLOGY バイオマス資源

使用ステップ

古くなった商品も使用可能な部分を「再使用（リユース）」できる設計や、部材を交換することでいつまでも「長期使用（ロングライフ）」できる商品を開発しています。使用段階でのユーザーの「環境配慮」にお応えします。

ECOLOGY リユース　ECOLOGY ロングライフ

廃棄ステップ

商品を廃棄する時のことまで考慮に入れ、可燃・資源ゴミに簡単に分別できる「分別廃棄」仕様や使用済み商品の回収システムにより、ゴミの発生を抑制しています。

ECOLOGY 分別廃棄　ECOLOGY 回収・再資源化
ECOLOGY 鉛フリーはんだ　ECOLOGY 回収・リユース

* キングジム環境マーク：キングジム商品の素材や使用時・廃棄時の情報について、お客様自身が判断できるようにカタログに掲載した独自のマーク。

環境展示会

キングジムでは、国内最大級の環境展示会「エコプロダクツ展」へ1999年の第一回開催時より継続して出展しており、環境保全活動や環境配慮商品について紹介しています。近年は、環境意識の高まりから、社会人だけでなく小中学生の姿も増え、幅広い年齢層の方々に見学いただいています。

エコプロダクツ2010

官公庁はもちろん、最近では大小の規模は問わず民間企業からもエコ商品の要求が増えています。特注品においてもグリーン購入法に適合した仕様をご提案しています。

東京支店　**酒匂 孝教**

環境勉強会

環境に関する知識向上のために、営業部門の社員を対象に環境勉強会を開催しました。

開催目的は、「グリーン購入法」の判断基準や「カーボンフットプリント」の数値について等、お客様からのさまざまな問合せに対して的確に回答するためです。今後も、化学物質や生物多様性など、環境に関するテーマを幅広く取り上げ、社員のレベルアップを図っていきます。

Webによる情報開示

キングジムWebサイトでは、環境への取り組み全般や環境配慮商品について紹介しています。

環境配慮商品については、「グリーン購入法」、「GPNエコ商品ねっと」への適合情報や「エコマーク」認定情報の他、キングジム独自に制定した「環境マーク」による商品のライフサイクルにおける環境配慮事項を分かりやすく表示しています。このキングジム環境マークは、環境省Webサイト内「環境ラベル等データベース」でも紹介されています。

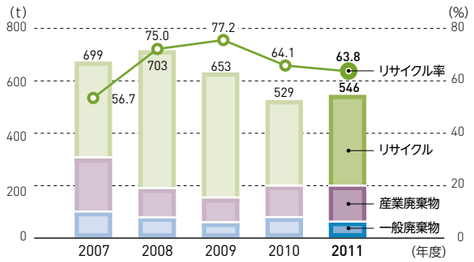
WEB **環境省：環境ラベル等データベース**
http://www.env.go.jp/policy/hozen/green/ecolabel/index.html

環境省の環境ラベル等データベースのWebサイト画面

廃棄物対策

事業活動に伴い、廃棄物は必ず発生します。その廃棄物を削減するにはリサイクルが欠かせません。
キングジムでは、各部門・各部署においてリサイクル率の向上を目指しています。

廃棄物推移（単体）



対象範囲：キングジム本社、国内工場および物流センター

製造部門のリサイクル

国内の製造拠点である松戸工場からは、紙、プラスチック、金属、複合素材等といったさまざまな種類の廃棄物が発生します。それらを有効利用するために、場内では廃棄物を23種類に分類しています。その結果、複合素材はRPF*の原料に、破損や腐敗した木製パレットは破砕後、合板用原料にリサイクルされています。

また、プラスチックや紙の単体素材は有価物として引き取られており、細分類して廃棄処理することは、リサイクル率アップや廃棄費用の削減につながっています。

廃棄物の細分類化

＊RPF：Refuse Paper & Plastic Fuel　古紙および廃プラスチック類を主原料とした高品位の固形燃料。

物流部門のリサイクル

物流部門における主な廃棄物は、使用済みの荷崩れ防止用ラップと段ボール箱等の副資材です。

ラップは社内で圧縮後、処理業者によって再生プラスチック原料にリサイクルされます。段ボール箱は、出荷用に再使用したり、クッション材との交換など、副資材についても有効利用できるよう配慮しています。

また、ベトナム工場からの製品輸送時には、日本製のリターナブルパレットを使用することで森林保護にも貢献しています。

使用済みの荷崩れ防止用ラップをリサイクル

オフィス部門のリサイクル

本社地区では、千代田区が運営する古紙リサイクルシステム「ちよだエコ・オフィス町内会」の会員企業として、紙の分別回収に協力しています。オフィスから排出される紙ゴミを、コピー紙・新聞紙・雑誌等に分別排出することで、紙ゴミの減量と省資源化を図っています。

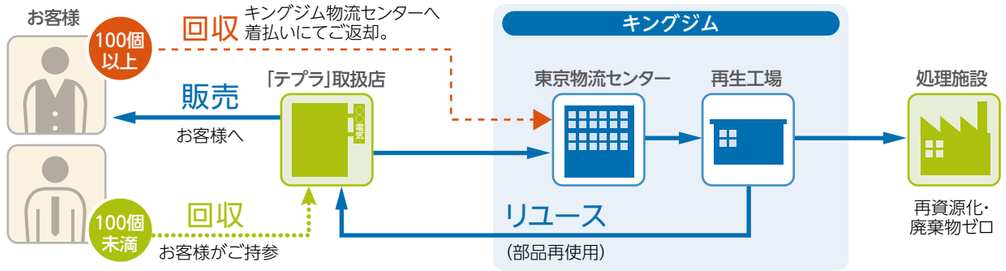
回収カートリッジのリユース・リサイクル

キングジムでは、1998年よりラベルライター「テプラ」使用済みテープカートリッジの回収を行っています。お客様から回収された使用済みテープカートリッジは、再利用可能な部品についてはリユースし、上下ケース部分は粉砕後、プラスチック原料にマテリアルリサイクルされます。

「テプラ」用
テープカートリッジ

テープカートリッジ回収実績

「テプラ」使用済みテープカートリッジ回収フロー



海外工場における取り組み

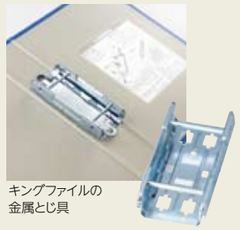
P.T. KING JIM INDONESIA

クリアーファイル
ヒクタス±

インドネシア・東ジャワ州パスルアン県にあるP.T. KING JIM INDONESIAは、クリアーファイルを中心とする化成品ファイルの生産拠点として、1996年に設立。2011年10月より、工場用水循環利用システムによって、材料生産工程で使用する冷却水の再利用を行い、水の使用量を削減する計画です。また、スラバヤ市日本人学校の中学生2名の職場体験学習を当期内で実施する予定です。

キングジム・インドネシア
取締役社長
高野 真

KING JIM（MALAYSIA） SDN.BHD.



キングファイルの
金属とじ具

マレーシア・ケダ州スンガイペタニ市にあるKING JIM(MALAYSIA) SDN.BHD.は、1998年に、主にキングファイルの心臓部ともいえる金属製とじ具の生産工場として設立しました。

金属製とじ具の生産工程において発生する鉄くず（バージンコイルスクラップ）は、現地のリサイクル業者に引き渡し、資源のリサイクルが行われています。

キングジム・マレーシア
取締役社長
末谷 拓哉

KING JIM（VIETNAM） Co.,Ltd.

キングファイル スーパードッチ

ベトナム・ビンズン省にあるKING JIM(VIETNAM) Co.,Ltd.は、2007年、キングファイルを中心とした、事務用ファイルを生産する工場として設立しました。ここでは、現地採用の社員の教育に熱心に取り組み、キングジムの「経営理念」をベトナム語に翻訳して、新入社員の最初の教育時に説明しています。

また、「日本企業で働くためのベーシックスキル」「報連相(報告・連絡・相談)の進め方」等のセミナーを実施し、キングジムで培われた理念や企業文化を継承しつつ、ベトナムに相応しい日系企業になるように努めています。

社員が参加したセミナーの
修了証

キングジム・ベトナム
取締役社長
飯島 吾郎

環境配慮設計

製品の環境負荷を低減させるためには、原材料の調達から商品の廃棄に至るまで、ライフサイクル全体を見直すことが必要です。キングジムでは素材の選定や製品仕様等について、常に環境配慮設計を心がけています。

製造ステップ

製品の企画・設計から環境配慮を重要テーマと位置づけ、製品の主要な部材に「再生紙」「再生PP」を使用することで、資源の有効活用に貢献しています。

キングファイル スーパードッチ〈脱・着〉イージー

表紙芯材には、古紙パルプ配合率100%のクラフトボードを使用しています。

ECOLOGY 再生紙

保存ファイル／アートカラーパイプファイル

表紙材の板紙は古紙パルプを配合、しかも耐久性があります。

ECOLOGY 再生紙

クリアーファイルリサイクル／クリアーホルダーリサイクル／GボックスPP

プラスチック部品に再生材（ポリプロピレン製）を使用しています。

ECOLOGY 再生PP

廃棄ステップ

商品の廃棄時を考慮して、部品ごとに簡単に分別できる「分別廃棄」仕様や有害物質を含有しない「鉛フリーはんだ」を採用しています。またキングジム独自の回収システムとして、テプラ使用済みテープカートリッジの「回収・再資源化」「回収・リユース」を行っています。

分別廃棄

ECOLOGY 分別廃棄

鉛フリーはんだ

ECOLOGY 鉛フリーはんだ

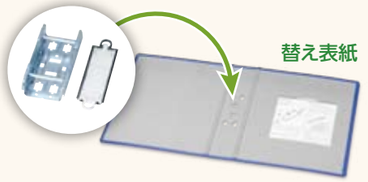
使用ステップ

古くなった製品でも使用可能な部分を「再利用（リユース）」できる設計や、部材交換によって「長期使用（ロングライフ）」できる製品を開発しています。

とじ具のリユース

取り外したとじ具を「替え表紙」に取り付ければ、再びキングファイル スーパードッチ〈脱・着〉イージーに生まれ変わります。

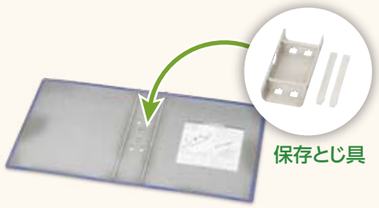
ECOLOGY リユース



表紙のリユース

古くなった表紙に「保存とじ具」を取り付けて、「保存用ファイル」として使用できます。

ECOLOGY ロングライフ



違法伐採に関する行動指針

日本政府は、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号：以下、グリーン購入法）に基づく環境物品等の調達の推進に関する基本方針を改定することにより、合法性、持続可能性が証明された木材・木材製品を調達の対象として推進を図ることとなりました。

キングジムグループでは、グリーン購入法適合製品の原材料となる木材製品（紙製品）についての違法伐採問題に関する行動指針を制定し、ここに公表します。

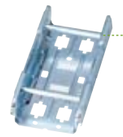
行動指針

1. キングジムグループは、違法な森林伐採に反対を表明します。
2. キングジムグループは、合法性の証明された木材製品（紙製品）の調達促進に努力します。
3. 製品の原材料となる木材製品（紙製品）の調達に際し、キングジムグループは原材料に関する分別管理や書類の管理等、合法性についての確認体制整備に努力します。

リデュース・リユース・リサイクルの3R+オルタナティブテクノロジー

環境配慮設計をする上で欠かせない「REDUCE（発生抑制）」「REUSE（再使用）」「RECYCLE（再資源活用・再資源化）」の3R。さらに、従来の素材に替わり、環境負荷が少なく有害物質を含まない材料の研究・開発等、「Alternative Technology（代替技術）」の応用や普及も目指しています。これらの考えに基づき、キングジムでは「資源採取」「製造」「流通」「使用」「廃棄」すべてのライフステージにおいて、可能な限り環境負荷低減が図れるよう、商品開発および設計に取り組んでいます。

とじ具の表面処理



6価クロメート処理から3価クロメート処理へ

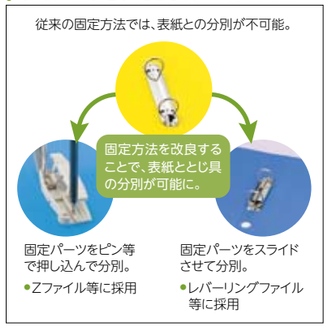
- キングファイルG
- キングファイル スーパードッチ

その他に採用

クロムフリー化による金属表面加工処理

- キングファイル エコロジードッチに採用

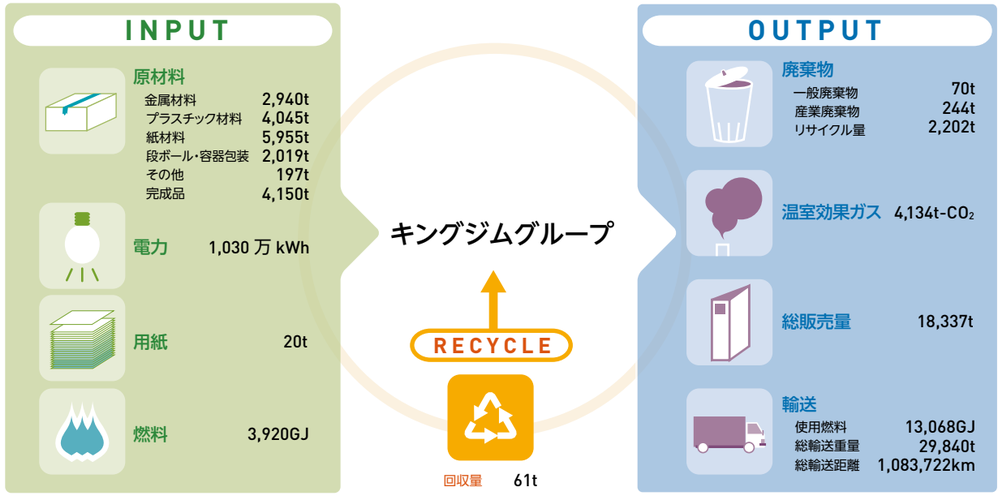
表紙に固定されたとじ具 → 分別可能へ



マテリアルフロー・環境会計

原材料やエネルギー使用量等（インプット）、また廃棄物やGHG排出量等（アウトプット）を算出し、
事業活動全体を把握することで、地球温暖化防止に向けた対策に役立てています。

2011年度マテリアルバランス



化学物質管理

PRTR法*1で指定されている化学物質のうち、キングジムではトルエンとキシレンの取り扱いがあり、使用量を把握しています。これらは、厚型ファイル製造時に使用する接着剤に含有しているものですが、2物質とも年間取扱量が1tに満たないため、国に対する届出の対象にはなっていません。

単位：kg

年度	2006	2007	2008	2009	2010
トルエン	65.3	67.4	57.8	85.8	92.7
キシレン	54.1	56.2	46.6	74.6	92.7

算出期間：PRTR法に基づき、毎年4月～翌年3月で算出
対象範囲：松戸工場

また、近年ではRoHS指令*2やREACH規制*3等、EUにおける化学物質規制の急速な高まりを受け、企業側は化学物質の情報開示を求められています。キングジムでは、製品の各部品について蛍光X線分析器による調査に基づき、有害化学物質の管理を行っています。

*1 **PRTR法**：Pollutant Release and Transfer Registerの略。特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律。

*2 **RoHS指令**：Restriction of the use of certain Hazardous Substances in electrical and electronic equipmentの略。電機電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する指令。

*3 **REACH規制**：欧州連合（EU）が施行する化学物質規制で、溶剤や洗剤、繊維、部品など、EUで流通する全製品に含まれる化学物質を対象に、その安全性評価を企業に義務付けた法律です。

環境会計*4

環境保全コストの把握、分析は、環境保全への取り組みを効率的かつ効果的に行う上で重要です。

分類	主な取り組みの内容	費用額（千円）
①事業エリア内コスト／資源循環コスト	廃棄物処理／リサイクル 等	13,177
②上・下流コスト	カートリッジ回収／容リ法 再商品化委託料金	21,488
③管理活動コスト	従業員教育／カタログ製作、展示会出展 等	18,476
④研究開発コスト	開発試作／設備 等	23,060
⑤社会活動コスト	環境保全団体への寄付 等	300
合計		76,502

*4 **環境会計**：事業活動における環境保全のためのコストとその活動により得られた効果を認識し、可能な限り定量的（貨幣単位または物量単位）に測定し、伝達する仕組み。

環境を意識した商品の取り組み

コンプライアンス

コンプライアンス体制の確立

キングジムは、経営理念、行動指針、ならびに最上位規程として位置づけられたコンプライアンスプログラムにより、役員および従業員が自らを律し、法令遵守はもとより、企業理念の実践に努めています。

コンプライアンスプログラム

私たちキングジムグループのすべての企業行動は、コンプライアンスに根付いたものでなければならない。

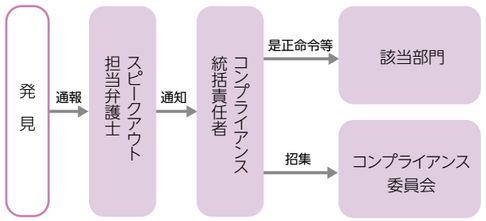
- 私たちキングジムグループの一員は、企業倫理や法律に反した行動をとりません。万一、企業倫理や法律に反する行為、または疑わしい行動を知った場合は、コンプライアンスの体制に則って、適切な対応をとります。
- 私たちキングジムグループの一員は、合法的でかつ清廉な行動をとります。
- 私たちキングジムグループの一員は、コンプライアンスの精神に反する不当な利益追求を行いません。

〈コンプライアンスの指針〉

- **環境の保全**
  私たちキングジムグループの一員は、環境配慮活動に積極的に取り組み、地球規模での環境負荷の軽減に努めます。
- **贈収賄などの禁止**
  私たちキングジムグループの一員は、社外とのクリーンな関係を保ちつづけ、贈収賄など、キングジムブランドを汚す行為は行いません。
- **良好な国際取引関係の形成**
  私たちキングジムグループの一員は、海外との取引にあたっては、関係法令を遵守すると共に、その文化や慣習を尊重し、良好な国際取引関係を形成します。
- **反社会的勢力との対決**
  私たちキングジムグループの一員は、暴力団などの反社会的勢力・団体とは、一切の関わりを持ちません。また、不当な要求には一切応じません。
- **独占禁止法の遵守**
  私たちキングジムグループの一員は、独占禁止法やその関係法令（景表法、下請法等）を遵守し、公正で、自由かつ透明な競争を行います。
- **知的財産の尊重**
  私たちキングジムグループの一員は、キングジムグループの知的財産権を尊重すると共に、他人の権利を尊重します。
- **不正競争の防止**
  私たちキングジムグループの一員は、不正競争防止法を遵守します。また、その精神に則り、オリジナリティーを尊重した商品開発を心がけると共に、常に業界のトップブランドであり続けます。
- **基本的人権の尊重**
  私たちキングジムグループの一員は、基本的人権を擁護し、人を人として尊重すると共に、個人の尊厳を傷つけるような行為は行いません。
- **労働関係法令の遵守**
  私たちキングジムグループの一員は、労働関係法令を遵守し、快適で安全な労働環境の維持・向上に努めます。
- **ハラスメントの禁止**
  私たちキングジムグループの一員は、いかなるハラスメントも行いません。
- **インサイダー取引の禁止**
  私たちキングジムグループの一員は、インサイダー取引を行いません。
- **秘密情報の適切管理**
  私たちキングジムグループの一員は、営業秘密、ノウハウ、個人情報などの秘密情報を適切に管理します。私たちキングジムグループの一員は、これらを不正に使用したり、第三者に漏洩することは致しません。

内部通報制度

上記のコンプライアンスプログラムの実効性を確保するために、当社ではスピークアウト制度（ヘルプライン）を整備しています。下のプロセスを経て、万一、コンプライアンス上問題となるおそれのある企業活動が生じた場合に、これを未然に防止する体制を確保しています。



個人情報保護

キングジムは、お客様をはじめとするステークホルダーの方々からお預かりした個人情報を適切に利用し、保護することが企業としての当然の責務であると考えています。「プライバシーステートメント」に基づき、社外への流出防止対策はもとより、外部からの不正アクセス、コンピュータウイルスなどに対する適正な情報セキュリティ対策を講じています。

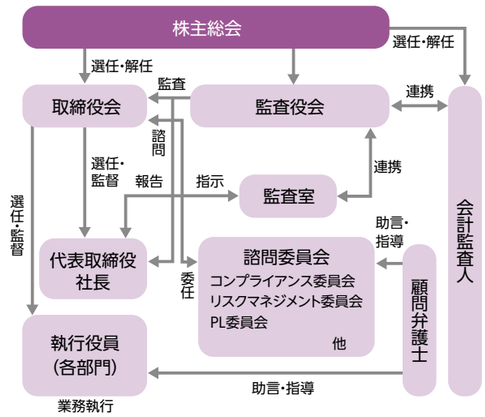
WEB 個人情報保護方針
http://www.kingjim.co.jp/privacy

コーポレート・ガバナンス

コーポレート・ガバナンス

キングジムは、監査役設置会社を選択しており、コーポレート・ガバナンスの充実に努めています。取締役会は、原則月1回開催し、経営方針、事業計画、組織その他取締役会規程に基づく案件等に関し、出席役員による十分な論議により審議しています。監査役は常勤監査役1名、非常勤監査役4名から構成され、原則月1回監査役会を開催しています。監査役は取締役会に出席し、意見の陳述を行うほか、取締役会の運営、決議、審議の方法などの監視をしています。また、当社は、執行役員制度を採用しており、各執行役員が担当部門の業務執行責任者として、当該部門の業務を迅速、的確に執行しています。

コーポレート・ガバナンス体制



CSRマネジメント体制

キングジムのCSRマネジメント体制は、CSRの各テーマに関係の深い部署や専門委員会からメンバーを選出した、部門横断的な組織で、2006年8月に「CSR委員会」として発足しました。

CSR委員会では、年数回の会合で、課題の抽出、および新しい具体的な取り組みテーマの検討や、CSRレポートの編纂などを行っています。

毎年実施している点字「テプラ」を活用した点字体験授業では、運営するスタッフを毎回社内から数人ずつ選定し、一人でも多くの社員が活動に触れて、CSR意識の向上につながるよう、社員への啓蒙活動にも力を入れています。

アカウンタビリティ

株主総会

定時株主総会では、「開かれた株主総会」を目指して、理解しやすさを意図したビジュアル化を推進しています。

2011年9月の「第63回定時株主総会」では、株主約380名様が出席されました。総会後の「懇親会」では、役員との懇談の場を設け、より一層のコミュニケーションを図りました。

定時株主総会

懇親会の様子

IR活動

決算説明会を年2回、アナリスト・経済記者などを対象に実施しています。2011年3月に「第二四半期」、2011年8月に「期末」の説明会を実施。代表取締役社長による決算内容や経営課題の説明を行い、ご出席の皆様に、当社経営に対する理解を深めていただいています。

決算説明会

リスクマネジメント

キングジムでは、3月11日の東日本大震災の発生を受けて、帰宅困難者対策、安否確認システム、備蓄品、災害対応マニュアル等の見直し・検討を行っています。

また、福島第一原子力発電所事故に伴う夏の電力不足への対応のため「電力供給低下対応プロジェクト」チームを編成しました。具体的には、クールビズ、室温28度設定、一部LED電球への交換等対応策を遂行しています。